

Docket No. 241743US2/hyc



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Hiroki ANZAI, et al.

GAU: 2615

SERIAL NO: 10/643,999

EXAMINER:

FILED: August 20, 2003

FOR: INFORMATION PROVIDING APPARATUS AND INFORMATION PROVIDING METHOD

REQUEST FOR PRIORITY

COMMISSIONER FOR PATENTS
ALEXANDRIA, VIRGINIA 22313

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date(s) of U.S. Provisional Application(s) is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e): Application No. Date Filed
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
JAPAN	2002-241156	August 21, 2002
JAPAN	2002-331276	November 14, 2002
JAPAN	2003-293687	August 15, 2003

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
- ☐ (B) Application Serial No.(s)
☐ are submitted herewith
☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.


Marvin J. Spivak

Registration No. 24,913

Joseph A. Scafetta, Jr.
Registration No. 26,803

Customer Number

22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 05/03)

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 8 月 1 5 日
Date of Application:

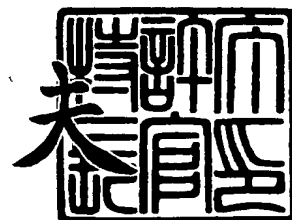
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 2 9 3 6 8 7
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 2 9 3 6 8 7]

出 願 人 日 本 電 信 電 話 株 式 有 限 公 司
Applicant(s):

2 0 0 3 年 8 月 2 8 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願
【整理番号】 NTTH156069
【提出日】 平成15年 8月15日
【あて先】 特許庁長官 今井 康夫 殿
【国際特許分類】 G06F 19/00
【発明者】
 【住所又は居所】 東京都千代田区大手町二丁目3番1号 日本電信電話株式会社内
 【氏名】 安西 浩樹
【発明者】
 【住所又は居所】 東京都千代田区大手町二丁目3番1号 日本電信電話株式会社内
 【氏名】 渡部 智樹
【発明者】
 【住所又は居所】 東京都千代田区大手町二丁目3番1号 日本電信電話株式会社内
 【氏名】 岸田 克己
【特許出願人】
 【識別番号】 000004226
 【氏名又は名称】 日本電信電話株式会社
【代理人】
 【識別番号】 100070150
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 伊東 忠彦
【先の出願に基づく優先権主張】
 【出願番号】 特願2002-241156
 【出願日】 平成14年 8月21日
【先の出願に基づく優先権主張】
 【出願番号】 特願2002-331276
 【出願日】 平成14年11月14日
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 002989
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供するための情報提供システムであって、

ユーザを特定するためのユーザ情報を取得する手段と、

映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を取得する手段と、

ユーザからの入力に対応する広告コンテンツを特定するための特定情報を取得する手段と、

前記ユーザ情報、前記コンテンツ情報、及び前記特定情報をマーク情報として送信する手段とを有するユーザ端末と、

映像コンテンツ毎に、広告コンテンツの識別情報と当該広告コンテンツに対応する特定情報とを関連付けて保持する広告情報保持手段と、

前記マーク情報に含まれるコンテンツ情報、及び前記特定情報を用いて前記広告情報保持手段から広告コンテンツの識別情報を取得し、当該広告コンテンツの識別情報もしくは当該広告コンテンツに関連する関連情報と、ユーザ情報とを対応付けて保持する保持手段と、

ユーザ情報に基づき前記広告コンテンツに関連する関連情報を提供する送信手段とを有するセンタ端末と

を有することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 2】

前記センタ端末は、ユーザ情報を含む閲覧依頼を閲覧端末から受信したことに応じて前記関連情報を当該閲覧端末に送信する請求項 1 に記載の情報提供システム。

【請求項 3】

前記センタ端末は、所定の通知時刻に、あるユーザに対応する前記関連情報を当該ユーザの閲覧端末に送信する請求項 1 に記載の情報提供システム。

【請求項 4】

前記所定の通知時刻は、前記広告コンテンツに関連する情報が未公開であれば公開日に近い日時、ユーザから指定された日時、又は、所定の間隔で定められた日時のうちのいずれかである請求項 3 に記載の情報提供システム。

【請求項 5】

前記ユーザ端末は、パッケージメディアの映像あるいは放送から受信した映像コンテンツを再生する再生手段を有し、

前記広告コンテンツを特定するための特定情報は、当該広告コンテンツの前記映像コンテンツにおける再生位置情報である請求項 1 に記載の情報提供システム。

【請求項 6】

前記センタ端末は、前記広告コンテンツの識別情報に対応付けて前記関連情報を保持する関連情報保持手段を有し、前記広告コンテンツの識別情報を用いて当該関連情報保持手段から関連情報を取得する請求項 1 に記載の情報提供システム。

【請求項 7】

前記ユーザ端末は、前記映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を、ユーザによる入力、前記パッケージメディア内に埋め込まれたデジタルデータ、他の端末、もしくは、前記放送に含まれる情報から取得する請求項 1 に記載の情報提供システム。

【請求項 8】

映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供するための情報提供システムにおいて使用されるセンタ端末であって、

ユーザを特定するためのユーザ情報と、映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報と、広告コンテンツを特定するための特定情報を受信する受信手段と、

映像コンテンツ毎に、広告コンテンツの識別情報と当該広告コンテンツに対応する特定情報とを関連付けて保持する広告情報保持手段と、

前記コンテンツ情報、及び前記特定情報を用いて前記広告情報保持手段から広告コンテ

コンテンツの識別情報を取得し、当該広告コンテンツの識別情報もしくは当該広告コンテンツに関連する関連情報と、ユーザ情報とを対応付けて保持する保持手段と、
ユーザ情報に基づき前記広告コンテンツに関連する関連情報を提供する送信手段とを有することを特徴とするセンタ端末。

【請求項 9】

ユーザ情報を含む閲覧依頼を閲覧端末から受信したことに応じて前記関連情報を当該閲覧端末に送信する請求項 8 に記載のセンタ端末。

【請求項 1 0】

所定の通知時刻に、あるユーザに対応する前記関連情報を当該ユーザの閲覧端末に送信する請求項 8 に記載のセンタ端末。

【請求項 1 1】

前記所定の通知時刻は、前記広告コンテンツに関連する情報が未公開であれば公開日に近い日時、ユーザから指定された日時、又は、所定の間隔で定められた日時のうちのいずれかである請求項 1 0 に記載のセンタ端末。

【請求項 1 2】

前記広告コンテンツの識別情報に対応付けて前記関連情報を保持する関連情報保持手段を有し、前記広告コンテンツの識別情報を用いて当該関連情報保持手段から関連情報を取得する請求項 8 に記載のセンタ端末。

【請求項 1 3】

映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供するための情報提供システムにおいて使用されるユーザ端末であって、

ユーザを特定するためのユーザ情報を取得する手段と、

映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を取得する手段と、

ユーザからの入力に対応する広告コンテンツを特定するための特定情報を取得する手段と、

前記ユーザ情報、前記コンテンツ情報、及び前記特定情報をマーク情報としてセンタ端末に送信する手段と

を有することを特徴とするユーザ端末。

【請求項 1 4】

ユーザ情報を含む関連情報取得依頼を前記センタ端末に送信し、当該センタ端末から前記マーク情報に対応する前記広告コンテンツに関連する関連情報を取得する手段を更に有する請求項 1 3 に記載のユーザ端末。

【請求項 1 5】

前記ユーザ端末は、パッケージメディアの映像あるいは放送から受信した映像コンテンツを再生する再生手段を更に有し、

前記広告コンテンツを特定するための特定情報として、当該広告コンテンツの前記映像コンテンツにおける再生位置情報を取得する請求項 1 3 に記載のユーザ端末。

【請求項 1 6】

前記映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を、ユーザによる入力、前記パッケージメディア内に埋め込まれたデジタルデータ、他の端末、もしくは、前記放送に含まれる情報から取得する請求項 1 3 に記載のユーザ端末。

【請求項 1 7】

ユーザ端末とセンタ端末を有する情報提供システムが映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供する方法であって、

ユーザ端末が、

ユーザを特定するためのユーザ情報を取得し、

映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を取得し、

ユーザからの入力に対応する広告コンテンツを特定するための特定情報を取得し、

前記ユーザ情報、前記コンテンツ情報、及び前記特定情報をマーク情報としてセンタ端末に送信し、

センタ端末は、

映像コンテンツ毎に、広告コンテンツの識別情報と当該広告コンテンツに対応する特定情報とを関連付けて広告情報保持手段に保持し、

前記マーク情報に含まれるコンテンツ情報、及び前記特定情報を用いて前記広告情報保持手段から広告コンテンツの識別情報を取得し、当該広告コンテンツの識別情報もしくは当該広告コンテンツに関連する関連情報と、ユーザ情報とを対応付けて保持し、

ユーザ情報に基づき前記広告コンテンツに関連する関連情報を提供する送信することを特徴とする方法。

【請求項 1 8】

前記センタ端末は、ユーザ情報を含む閲覧依頼を閲覧端末から受信したことに応じて前記関連情報を当該閲覧端末に送信する請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 1 9】

前記センタ端末は、所定の通知時刻に、あるユーザに対応する前記関連情報を当該ユーザの閲覧端末に送信する請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記所定の通知時刻は、前記広告コンテンツに関連する情報が未公開であれば公開日に近い日時、ユーザから指定された日時、又は、所定の間隔で定められた日時のうちのいずれかである請求項 1 9 に記載の方法。

【請求項 2 1】

前記ユーザ端末は、パッケージメディアの映像あるいは放送から受信した映像コンテンツを再生する再生手段を有し、

前記広告コンテンツを特定するための特定情報は、当該広告コンテンツの前記映像コンテンツにおける再生位置情報である請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記センタ端末は、前記広告コンテンツの識別情報に対応付けて前記関連情報を保持する関連情報保持手段を有し、前記広告コンテンツの識別情報を用いて当該関連情報保持手段から関連情報を取得する請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 2 3】

前記ユーザ端末は、前記映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を、ユーザによる入力、前記パッケージメディア内に埋め込まれたデジタルデータ、他の端末、もしくは、前記放送に含まれる情報から取得する請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 2 4】

センタ端末が映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供するのための方法であって、

映像コンテンツ毎に、広告コンテンツの識別情報と当該広告コンテンツに対応する特定情報とを関連付けて広告情報保持手段に保持し、

ユーザを特定するためのユーザ情報と、映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報と、広告コンテンツを特定するための特定情報を受信し、

前記コンテンツ情報、及び前記特定情報を用いて前記広告情報保持手段から広告コンテンツの識別情報を取得し、当該広告コンテンツの識別情報もしくは当該広告コンテンツに関連する関連情報と、ユーザ情報とを対応付けて保持し、

ユーザ情報に基づき前記広告コンテンツに関連する関連情報を提供することを特徴とする方法。

【請求項 2 5】

前記センタ端末は、ユーザ情報を含む閲覧依頼を閲覧端末から受信したことに応じて前記関連情報を当該閲覧端末に送信する請求項 2 4 に記載の方法。

【請求項 2 6】

前記センタ端末は、所定の通知時刻に、あるユーザに対応する前記関連情報を当該ユーザの閲覧端末に送信する請求項 2 4 に記載の方法。

【請求項 2 7】

前記所定の通知時刻は、前記広告コンテンツに関連する情報が未公開であれば公開日に近い日時、ユーザから指定された日時、又は、所定の間隔で定められた日時のうちのいずれかである請求項 26 に記載の方法。

【請求項 28】

前記センタ端末は、前記広告コンテンツの識別情報に対応付けて前記関連情報を保持する関連情報保持手段を有し、前記広告コンテンツの識別情報を用いて当該関連情報保持手段から関連情報を取得する請求項 24 に記載の方法。

【請求項 29】

映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供するための情報提供システムにおいて使用されるユーザ端末の処理の方法であって、

ユーザを特定するためのユーザ情報を取得し、

映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を取得し、

ユーザからの入力に対応する広告コンテンツを特定するための特定情報を取得し、

前記ユーザ情報、前記コンテンツ情報、及び前記特定情報をマーク情報としてセンタ端末に送信することを特徴とする方法。

【請求項 30】

前記ユーザ端末は、ユーザ情報を含む関連情報取得依頼を前記センタ端末に送信し、当該センタ端末から前記マーク情報に対応する前記広告コンテンツに関連する関連情報を取得する請求項 29 に記載の方法。

【請求項 31】

前記ユーザ端末は、パッケージメディアの映像あるいは放送から受信した映像コンテンツを再生する再生手段を有し、前記広告コンテンツを特定するための特定情報として、当該広告コンテンツの前記映像コンテンツにおける再生位置情報を取得する請求項 29 に記載の方法。

【請求項 32】

前記ユーザ端末は、前記映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を、ユーザによる入力、前記パッケージメディア内に埋め込まれたデジタルデータ、他の端末、もしくは、前記放送に含まれる情報から取得する請求項 29 に記載の方法。

【請求項 33】

コンピュータを、映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供するための情報提供システムにおいて使用されるセンタ端末として機能させるプログラムであって、コンピュータを、

ユーザを特定するためのユーザ情報と、映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報と、広告コンテンツを特定するための特定情報を受信する受信手段、

映像コンテンツ毎に、広告コンテンツの識別情報と当該広告コンテンツに対応する特定情報とを関連付けて保持する広告情報保持手段、

前記コンテンツ情報、及び前記特定情報を用いて前記広告情報保持手段から広告コンテンツの識別情報を取得し、当該広告コンテンツの識別情報もしくは当該広告コンテンツに関連する関連情報と、ユーザ情報とを対応付けて保持する保持手段、

ユーザ情報に基づき前記広告コンテンツに関連する関連情報を提供する送信手段

として機能させるプログラム。

【請求項 34】

コンピュータを、ユーザ情報を含む閲覧依頼を閲覧端末から受信したことに応じて前記関連情報を当該閲覧端末に送信する手段として更に機能させる請求項 33 に記載のプログラム。

【請求項 35】

コンピュータを、所定の通知時刻に、あるユーザに対応する前記関連情報を当該ユーザの閲覧端末に送信する手段として更に機能させる請求項 33 に記載のプログラム。

【請求項 36】

前記所定の通知時刻は、前記広告コンテンツに関連する情報が未公開であれば公開日に

近い日時、ユーザから指定された日時、又は、所定の間隔で定められた日時のうちのいずれかである請求項 35 に記載のプログラム。

【請求項 37】

コンピュータを、前記広告コンテンツの識別情報に対応付けて前記関連情報を保持する関連情報保持手段、前記広告コンテンツの識別情報を用いて当該関連情報保持手段から関連情報を取得する手段として更に機能させる請求項 33 に記載のプログラム。

【請求項 38】

コンピュータを、映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供するための情報提供システムにおいて使用されるユーザ端末として機能させるプログラムであって、コンピュータを、

ユーザを特定するためのユーザ情報を取得する手段、

映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を取得する手段、

ユーザからの入力に対応する広告コンテンツを特定するための特定情報を取得する手段

、
前記ユーザ情報、前記コンテンツ情報、及び前記特定情報をマーク情報としてセンタ端末に送信する手段

として機能させるプログラム。

【請求項 39】

コンピュータを、ユーザ情報を含む関連情報取得依頼を前記センタ端末に送信し、当該センタ端末から前記マーク情報に対応する前記広告コンテンツに関連する関連情報を取得する手段として更に機能させる請求項 38 に記載のプログラム。

【請求項 40】

コンピュータを、

パッケージメディアの映像あるいは放送から受信した映像コンテンツを再生する再生手段、

前記広告コンテンツを特定するための特定情報として、当該広告コンテンツの前記映像コンテンツにおける再生位置情報を取得する手段として更に機能させる請求項 38 に記載のプログラム。

【請求項 41】

コンピュータを、前記映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を、ユーザによる入力、前記パッケージメディア内に埋め込まれたデジタルデータ、他の端末、もしくは、前記放送に含まれる情報から取得する手段として更に機能させる請求項 38 に記載のプログラム。

【請求項 42】

請求項 33 ないし 41 のうちいずれか 1 項に記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【書類名】明細書

【発明の名称】 情報提供装置及び情報提供方法並びに情報提供プログラム及び情報提供プログラムを記録した記録媒体

【技術分野】**【0001】**

本発明は、映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供するための技術に関する。

【背景技術】**【0002】**

コンテンツの任意の部分に関連する詳細情報をユーザに提供する従来技術としては、以下に示す技術がある。

【0003】

最初の技術は「情報提供装置」（特許文献1：特開平9-160852号）に開示された技術である。当該技術は、放送メディアの受信端末とユーザ端末（コンピュータ）を組み合わせ、ユーザの簡単な操作により、視聴している番組の詳細情報を要求することを可能にする技術である。この情報提供装置では、チャンネル番号とユーザ要求取得時刻の組を、番組の詳細情報のアドレスを提供しうるアドレスサーバに送信し、アドレスサーバは、受信した組を詳細情報のアドレスに変換し、ユーザ端末に提供する。また、ある時間が経過した後にユーザからの要求に基づいて詳細情報のアドレスを提供することもできる。

【0004】

次の技術は、「AV情報の再生システム及び同システムに適用する再生方法」（特許文献2：特開平9-328596号）である。当該技術では、記憶媒体を再生中、詳細情報（Webページ）を表示可能な場合にそのことを明示するマーク（「Webマーク」）を表示し、「Webマーク」をクリックするなどのユーザの操作により、詳細情報を再生装置に提供する。

【0005】

また、「再生システム、再生端末装置」（特許文献3：特開平10-62724号）では、再生端末で再生されるデータファイル（音楽や映像）に関連した詳細情報が情報サーバから再生端末にダウンロードされ、表示される。再生端末は、再生データファイルの識別情報を情報センタに送信し、情報センタは、受信した識別情報に基づいて、詳細情報のURLを再生端末に送信する。

【特許文献1】 特開平9-160852号公報

【特許文献2】 特開平9-328596号公報

【特許文献3】 特開平10-62724号公報

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0006】**

しかしながら、上記従来技術には、以下のような問題がある。

【0007】

上記の「情報提供装置」（特開平9-160852）は、放送メディアでの利用を想定している。また、ユーザによる詳細情報要求の操作の検出に、チャンネル番号と時刻を用いているため、パッケージメディアでの検出に応用することは不可能である。

【0008】

また、上記の「AV情報の再生システム及び同システムに適用する再生方法」（特開平9-328596号）の詳細情報の表示は、「webマーク」が表示されているときにユーザによる要求操作が行われた場合のみである。任意のタイミングで非同期に表示させたり、再生機器とは別の端末に表示させることはできない。

【0009】

また、上記の「再生システム、再生端末装置」（特開平10-62724号）は、再生コンテンツの中で、ユーザが興味を持ったものに関する詳細情報のみを表示することは

きない。また、その詳細情報を、任意のタイミングで表示させることもできない。

【0010】

また、上記従来技術では、ユーザが興味を覚えた情報を記録しておくことはできるが、ユーザからの要求がないと関連情報の提供ができないことから、ユーザが記録した事実を忘れてしまった場合、せっかく記録した情報を有効に利用することができないという問題もある。

【0011】

本発明の目的は、映像コンテンツの中でユーザが興味をもった広告コンテンツに関する情報を、所望の端末に任意のタイミングで表示することを可能とする情報提供の技術を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0012】

上記の課題は、映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供するための情報提供システムであって、ユーザを特定するためのユーザ情報を取得する手段と、映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を取得する手段と、ユーザからの入力に対応する広告コンテンツを特定するための特定情報を取得する手段と、前記ユーザ情報、前記コンテンツ情報、及び前記特定情報をマーク情報として送信する手段とを有するユーザ端末と、映像コンテンツ毎に、広告コンテンツの識別情報と当該広告コンテンツに対応する特定情報とを関連付けて保持する広告情報保持手段と、前記マーク情報に含まれるコンテンツ情報、及び前記特定情報を用いて前記広告情報保持手段から広告コンテンツの識別情報を取得し、当該広告コンテンツの識別情報もしくは当該広告コンテンツに関連する関連情報と、ユーザ情報とを対応付けて保持する保持手段と、ユーザ情報に基づき前記広告コンテンツに関連する関連情報を提供する送信手段とを有するセンタ端末とを有する情報提供システムにより解決される。

【0013】

本発明によれば、センタ端末は、ユーザ端末からのマーク情報に基づき、ユーザに対応付けて広告コンテンツに関する情報を保持するので、ユーザは所望の端末を用いて任意のタイミングで広告コンテンツに関する情報を取得できる。

【0014】

例えば、前記センタ端末は、ユーザ情報を含む閲覧依頼を閲覧端末から受信したことに応じて前記関連情報を当該閲覧端末に送信する。また、前記センタ端末は、所定の通知時刻に、あるユーザに対応する前記関連情報を当該ユーザの閲覧端末に送信することもできる。

【0015】

この所定の通知時刻として、前記広告コンテンツに関連する情報が未公開であれば公開日に近い日時、ユーザから指定された日時、又は、所定の間隔で定められた日時のうちのいずれかを用いることができる。

【0016】

また、前記ユーザ端末に、パッケージメディアの映像あるいは放送から受信した映像コンテンツを再生する再生手段を備えることもでき、この場合、前記広告コンテンツを特定するための特定情報は、例えば、当該広告コンテンツの前記映像コンテンツにおける再生位置情報である。

【0017】

また、前記センタ端末は、前記広告コンテンツの識別情報に対応付けて前記関連情報を保持する関連情報保持手段を有し、前記広告コンテンツの識別情報を用いて当該関連情報保持手段から関連情報を取得するようにしてもよい。

【0018】

なお、前記ユーザ端末は、前記映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を、ユーザによる入力、前記パッケージメディア内に埋め込まれたデジタルデータ、他の端末、もしくは、前記放送に含まれる情報から取得することが可能である。

【0019】

また、上記の課題は、映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供するための情報提供システムにおいて使用されるセンタ端末であって、ユーザを特定するためのユーザ情報と、映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報と、広告コンテンツを特定するための特定情報を受信する受信手段と、映像コンテンツ毎に、広告コンテンツの識別情報と当該広告コンテンツに対応する特定情報とを関連付けて保持する広告情報保持手段と、前記コンテンツ情報、及び前記特定情報を用いて前記広告情報保持手段から広告コンテンツの識別情報を取得し、当該広告コンテンツの識別情報もしくは当該広告コンテンツに関連する関連情報と、ユーザ情報とを対応付けて保持する保持手段と、ユーザ情報に基づき前記広告コンテンツに関連する関連情報を提供する送信手段とを有するセンタ端末によっても解決できる。

【0020】

また、上記の課題は、上記のセンタ端末とともに用いられるユーザ端末であって、ユーザを特定するためのユーザ情報を取得する手段と、映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報を取得する手段と、ユーザからの入力に対応する広告コンテンツを特定するための特定情報を取得する手段と、前記ユーザ情報、前記コンテンツ情報、及び前記特定情報をマーク情報としてセンタ端末に送信する手段とを有するユーザ端末によっても解決できる。

【発明の効果】**【0021】**

本発明によれば、センタ端末がユーザ端末からのマーク情報に基づきユーザに対応付けて広告コンテンツに関する情報を保持するので、ユーザは所望の端末を用いて任意のタイミングで広告コンテンツに関する情報を取得できる。

【発明を実施するための最良の形態】**【0022】**

以下、本発明の各実施の形態について添付の図面を参照して説明する。

〔第1の実施の形態〕

まず、第1の実施の形態の原理について図1、図2を参照して説明する。図1は、第1の実施の形態のパッケージメディアコンテンツ詳細情報取得システムの概要構成図である。なお、パッケージメディアとは、販売やレンタルを目的とする、映像や音楽やゲームなどのコンテンツを記憶している光磁気ディスクや磁気テープなどの記憶媒体のことである。

【0023】

このシステムは、パッケージメディアのコンテンツの詳細情報を取得するためのシステムである。当該システムは、メディア再生機器200と、閲覧端末300と、センタ端末100とを有している。

【0024】

メディア再生機器200は、ユーザからの入力を検出する第1のユーザ入力検出部230と、第1のユーザ入力検出部230によるユーザの入力からユーザIDを取得するユーザID取得部240と、第1のユーザ入力検出部230によるユーザの入力、または、メディア内に埋め込まれたデジタルデータからパッケージIDを取得するパッケージID取得部250と、第1のユーザ入力検出部230による興味を持ったコンテンツに対するユーザの入力からパッケージメディアの再生位置情報を取得する再生位置情報取得部260と、ユーザID、パッケージID及び再生位置情報をマーク情報として送信するマーク情報送信部270とを有するメディア再生機器200。

【0025】

センタ端末100は、他の装置からの情報を受信する受信部110と、パッケージID毎に挿入されている広告コンテンツの再生区間情報と広告コンテンツのコンテンツIDを関連付けて保持する広告情報保持部150と、受信部110において受信したマーク情報に含まれるパッケージIDと再生位置情報を広告情報保持部150に送ることにより、ユ

ユーザが興味を示したコンテンツの特定を依頼し、ユーザIDと特定したコンテンツのコンテンツIDを対応付けて保存するマーク情報保持部140と、各コンテンツ毎にタイトル、レンタル料金、貸出可否、予約可否を含む情報をコンテンツIDと対応付けて保持するコンテンツ情報管理部160と、受信部110において受信した閲覧依頼に含まれるユーザIDに基づいてマーク情報保持部を参照してコンテンツIDを特定し、該コンテンツIDに基づいてコンテンツ情報管理部160を検索して、該コンテンツIDに関連する情報を該閲覧依頼元へ送信するマークコンテンツ情報作成・送信部170とを有する。

【0026】

閲覧端末300は、ユーザの入力を検出する第2のユーザ入力検出部310と、第2のユーザ入力検出部310から取得したユーザIDを伴う閲覧依頼をセンタ端末100に送信する閲覧依頼部330と、センタ端末100から取得した応答を表示する表示部340とを有する。

【0027】

次に、図2のシーケンスチャートを参照して上記システムの動作概要を説明する。

【0028】

メディア再生機器200は、ユーザからのユーザIDの入力を検出して保持しておく（ステップ1）、ユーザからの入力または、メディア内に埋め込まれたデジタルデータからパッケージIDを取得する（ステップ2）。そして、メディアを再生し、興味を持ったコンテンツに対するユーザの入力からパッケージメディアの再生位置情報を取得し（ステップ3）、ユーザID、パッケージID及び再生位置情報をマーク情報としてセンタ端末に送信する（ステップ4）。

【0029】

センタ端末は、メディア再生機器から送信されたマーク情報からユーザを特定し、該マーク情報を保存しておく（ステップ5）。閲覧端末300からユーザIDを含む閲覧依頼を受信すると（ステップ6）、閲覧依頼に含まれるユーザIDに基づいてユーザを特定し（ステップ7）、閲覧依頼に含まれるユーザIDに基づいて、マーク情報に含まれるパッケージIDと再生位置情報を検索する（ステップ8）。そして、パッケージIDと再生位置情報に基づいてユーザが興味を示したコンテンツのコンテンツIDを特定し（ステップ9）、該コンテンツIDに関連する情報を、コンテンツIDに対応するコンテンツ情報を管理する記憶部から取得して（ステップ10）、閲覧端末200に送信する（ステップ11）。閲覧端末200はセンタ端末100から取得した応答を表示する（ステップ12）。

【0030】

次に本実施の形態をより具体的に説明する。以下、パッケージメディアのレンタルサービスを例に説明する。

【0031】

本実施の形態におけるパッケージメディアは、例えば、レンタルビデオやDVDなどである。ユーザはコンテンツの本編に付随する予告編などの広告コンテンツに興味を持つものとする。ユーザが広告コンテンツを視聴して興味を持ったときに、リモコンなどにより簡単な操作を行うだけでその情報がセンタ端末に保持され、ユーザが希望する任意のタイミングで保持されている広告コンテンツに関する詳細情報を閲覧することができる。

【0032】

詳細情報は、広告コンテンツのタイトルやレンタル料金、ユーザから閲覧要求があった時点でのレンタル可否、レンタルの予約可否などである。

【0033】

図3は、本発明の第1の実施の形態におけるシステム構成を示す。

【0034】

第1の実施の形態におけるシステムは、ユーザが借りてきたビデオやDVDなどのメディアを再生するメディア再生機器200と、ユーザが興味を覚えた広告コンテンツの情報を記憶し、ユーザの要求に基づき、広告コンテンツに関する詳細情報の提示や予約受付な

どを行うセンタ端末100と、ユーザが任意のタイミングで広告コンテンツに関する詳細情報を要求する際に用いる閲覧端末300から構成される。

【0035】

これらは、インターネットなどの通信回線で接続されているものとする。ここでは、メディア再生機器200と閲覧端末300を別の端末として説明するが、同じ端末であってもよい。

【0036】

図3に示すシステムを構成する各装置について説明する。

【0037】

メディア再生機器200は、メディア再生部210、表示部220、ユーザ入力検出部230、ユーザID取得・保持部240、パッケージID保持部250、再生位置情報取得部260、マーク情報送信部270から構成される。

【0038】

メディア再生部210は、ビデオカセットやDVDなどのメディアの挿入口を持ち、メディアに収録されている映像データを再生する。

【0039】

表示部220は、メディア再生部210により再生された映像データや、ユーザに対して操作メニューや操作内容の確認を求める内容を表示する。

【0040】

ユーザ入力検出部230は、ユーザにより入力されるユーザIDやパッケージIDのほか、広告コンテンツを特定するためのユーザの入力を検出する。

【0041】

ここで、ユーザID (UID) とは、ユーザ登録をしたユーザ毎にシステムから予め割り振られるもので、ユーザを特定するために用いられる。また、パッケージID (PID) とは、ユーザが借りてきた映像コンテンツメディア毎に予め割り振られたものである。

【0042】

ここで、各IDの具体例とそれぞれの検出方法を述べる。ユーザID (UID) は、数字やアルファベットで構成される文字列をリモコンやキーボードなどを用いて入力されたものを検出する方法や、ユーザ入力検出部230としてバーコードリーダを用いて、会員カードに備わっているバーコードを読み取ることで検出する方法などが考えられる。

【0043】

パッケージID (PID) も同様に、パッケージに書かれている文字列をユーザが入力したものを検出する方法や、パッケージに付随するバーコードを読み取る方法もある。また、メディア内にデジタルデータとして埋め込む方法もある。

【0044】

ユーザID取得・保持部240は、ユーザ入力検出部230により検出されたユーザID (UID) を取得し、保持する。また、メディア再生機器毎に予めユーザID (UID) を保持していてもよい。

【0045】

パッケージID保持部250は、ユーザ入力検出部230で取得するか、または、メディア内に埋め込まれたデジタルデータからパッケージID (PID) を取得し、保持する。

【0046】

再生位置情報取得部260は、興味を持った広告コンテンツに対するユーザの入力を検出した際に、その時の再生位置情報 (T) を取得する。再生位置情報 (T) は、収録されている映像全体の相対時間などである。このとき、ユーザの入力は、例えば、リモコンの一時停止ボタンの押下などを想定する。

【0047】

マーク情報送信部270は、保持しているユーザID (UID)、パッケージID (PID)、再生位置情報 (T) で構成されるマーク情報 (M) を作成し、センタ端末100

に送信する。

【0048】

本実施の形態では、各構成要素がすべて1つの機器の中に実装される場合を示すが、ユーザ入力検出部230、ユーザID取得・保持部240、パッケージID保持部250、再生位置情報取得部260、マーク情報送信部270の各構成は、すべてあるいは一部が別の端末やカードなどに実装される場合もある。その場合は、別端末やカードとメディア再生機器300との間に、赤外線などの無線通信手段や、カードリーダーなどのデータ通信手段が必要になる。別端末としては、携帯電話やPDAなどの携帯端末、カードとしては、ICカードや磁気カードなどが用いられる場合がある。その一例は、第2の実施の形態において後述する。

【0049】

また、同図の例では、センタ端末100は1つであるが、1つに限定されるものではなく、複数存在することも可能である。例えば、パッケージの製作会社毎にセンタ端末が設けられることもあれば、レンタル会社毎にセンタ端末が設けられることもある。例えば、パッケージに接続先が記載されていたり、レンタル会社が発行するユーザカードに接続先が記載されていたり、レンタル会社が発行するユーザカードに接続先が記載されていることを想定することができる。

【0050】

センタ装置100は、受信部110、ユーザ特定部120、ユーザ情報管理部130、マーク情報保持部140、広告情報保持部150、コンテンツ情報管理部160、マークコンテンツ情報作成・送信部170、及び予約管理部180から構成される。

【0051】

これらの構成要素は、単一の機器で構成される必要はなく、別々の機器内に実装されてもよい。特に支店として複数の店舗を構える場合、ユーザ情報の管理や、貸出可否及び予約可否の管理は店舗毎に行い、マーク情報の保持は一箇所に集約して行う場合などが考えられる。

【0052】

受信部110は、メディア再生機器200からマーク情報(M)を、閲覧端末300から閲覧依頼(L)や予約依頼(R)を受信し、その中に含まれるユーザID(UIID)をユーザ特定部120に送る。ユーザが特定されたら、マーク情報(M)を受信した場合は、マーク情報保持部140にマーク情報(M)の保存を依頼し、閲覧情報(L)を受信した場合には、マークコンテンツ情報作成・送信部170にマークコンテンツ情報(C)の作成を依頼し、予約依頼(R)の場合は予約管理部180に予約を依頼する。

【0053】

マーク情報保持部140は、マーク情報(M)に含まれるパッケージID(PID)と再生位置情報(T)を広告情報保持部150に送ってユーザが興味を示したコンテンツの特定を依頼し、ユーザID(UIID)と特定したコンテンツのコンテンツID(CID)を関連させて保存する。ここで、コンテンツID(CID)とは、映像コンテンツを一意に特定するために予め各コンテンツ毎に割り振られているものである。

【0054】

広告情報保持部150は、パッケージID(PID)毎に挿入されている広告コンテンツの再生区間情報と広告コンテンツのコンテンツID(CID)を関連付けて保持する。

【0055】

コンテンツ情報管理部160は、各コンテンツ毎にタイトル、レンタル料金、貸出可否、予約可否などの情報をコンテンツID(CID)と関連付けて保持する。

【0056】

マークコンテンツ情報作成・送信部170は、閲覧依頼(L)に含まれるユーザID(UIID)を用いてマーク情報保持部140に保存データを問い合わせ、このユーザによりマークが行われたコンテンツの情報(マークコンテンツ情報(C))を作成し、閲覧端末300に送信する。この情報には、マークが行われたコンテンツのタイトルやレンタル料

金、貸出可否、予約可否、コンテンツID (CID)、他のお薦めコンテンツ情報などが含まれる。ユーザがマークした際に視聴した広告映像を再度ここで提供する場合もある。

【0057】

予約管理部180は、予約依頼(R)に含まれるユーザID (UID) とコンテンツID (CID) と予約日時(D) を用いて予約を管理する。ここで、予約日時(D) は、ユーザにより入力された予約を希望する日時である。このとき、パスワードなどを用いたユーザの認証を行う場合もある。

【0058】

閲覧端末300は、ユーザ入力検出部310、ユーザID取得・保持部320、マークコンテンツ情報閲覧依頼部330、表示部340、及び予約依頼部350から構成される。

【0059】

ユーザ入力検出部310とユーザID取得・保持部320は、メディア再生機器200と同じであるため、これらの説明は省略する。

【0060】

マークコンテンツ情報閲覧依頼部330は、ユーザの入力によりマークされた広告コンテンツの情報閲覧を要求するために、ユーザID (UID) を含む閲覧依頼(L) を作成し、センタ端末100に送信する。

【0061】

表示部340は、センタ端末100からマークコンテンツ情報(C) を受信し、表示する。

【0062】

予約依頼部350は、ユーザの入力により取得した予約日時(D) とマークコンテンツ情報(C) に含まれるコンテンツID (CID)、ユーザID (UID) で構成される予約依頼(R) を作成し、センタ端末100に送信する。このとき、センタ端末100からのユーザ認証の要求に従い、ユーザのパスワードの入力などを検出してセンタ端末100に送信する場合もある。

【0063】

次に、図4～図8を用いて処理の流れを説明する。

【0064】

図4は、本発明の第1の実施の形態におけるメディア再生機器の処理のフローチャートである。

【0065】

まず、ユーザがレンタルしてきたビデオやDVDが当該メディア再生機器200にセットされると、ユーザID取得・保持部240で予めユーザID (UID) を保持しているかどうかを確認する。もし保持していない場合には(ステップ101、no)、ユーザによるユーザID (UID) の入力を検出して(ステップ102、yes)、保持する(ステップ103)。保持している場合には、そのまま次の処理を行う。

【0066】

次に、ユーザの入力を検出するか、または、メディアに記録されているデジタルデータを読み取ることにより、パッケージID (PID) を取得し(ステップ104)、メディア再生処理を行う(ステップ105)。そして、ユーザが視聴した広告コンテンツに興味を持ちマークしておくために行った入力を検出し(ステップ106)、そのときの再生位置情報(T) を取得する(ステップ107)。

【0067】

前述のように、このときのマークの方法は、リモコンを用いて「一時停止ボタン」を押すといった、簡単な方法で行えるものとする。保持しているユーザID (UID)、パッケージID (PID)、取得した再生位置情報(T) を用いてマーク情報(M) を作成し、センタ端末100に送信する(ステップ108)。次に、センタ端末100の処理について説明する。

【0068】

図5は、本発明の第1の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャートである。

【0069】

メディア再生機器200からのマーク情報(M)か、閲覧端末300からの閲覧依頼(L)または、予約依頼(R)の受信を待機する。マーク情報(M)を受信した場合(ステップ201、yes)、その中に含まれるユーザID(UID)を用いてユーザの特定処理を行う(ステップ202)。ユーザの特定処理は、受信部110からユーザID(UID)を受け取ったユーザ特定部120が、予めユーザの登録に基づいて、ユーザ情報を保持しているユーザ情報管理部130に問い合わせ、システムに登録されているユーザによるマーク情報(M)の送信であることを確認する。もし、登録されていない場合は、新規に登録を要求する表示をメディア再生機器200に行わせるための情報を送信してもよい。

【0070】

続けて、マーク情報(M)の保存処理を行う(ステップ203)。このサブフローを図6を用いて説明する。

【0071】

マーク情報保持部140は、受信部110からマーク情報(M)を受信し(ステップ301)、その中のパッケージID(PID)と再生位置情報(T)を広告情報保持部150に送り、該当する広告コンテンツのコンテンツID(CID)を取得する(ステップ302)。広告情報保持部150で保持するデータの例を図7に示す。パッケージID(PID)毎に、広告コンテンツの再生位置とそのコンテンツID(CID)を対応付けて記憶している。

【0072】

そして、マーク情報保持部140は、取得したコンテンツID(CID)とユーザID(UID)を対応付けて保存する(ステップ303)。このとき、マークが行われた日時として、システムが持つ時計がその時に指し示す時刻を合わせて記憶してもよいし、そのユーザによりそのコンテンツのレンタルが行われたかどうかを判別するためのフラグを記憶するデータ領域を設けてもよい。マーク情報保持部140で保持するデータの例を図8に示す。なお、同図では、ユーザは1つのマークを付与する例を示しているが、1ユーザに付き複数のマーク情報を管理できる。閲覧依頼に対して、ユーザIDからコンテンツを特定するとき、1つのコンテンツに特定しなくてもよく、ユーザIDと組み合わせ保存しているコンテンツIDはすべて閲覧端末300に表示してもよい。勿論、何等かの処理で表示させるコンテンツを絞ることもあり得る。一例としては、同図に示す『レンタル有無』のフラグを用いて、既にレンタル済みのコンテンツは表示しないといったことも可能である。

【0073】

次に、センタ端末100は、閲覧端末からの閲覧依頼(L)の受信を待機し、受信した場合は(ステップ204)、その中に含まれるユーザID(UID)を用いてユーザ特定処理を行う(ステップ205)。その処理は、前述と同様であるので説明は省略する。

【0074】

続けてマークコンテンツ情報(C)を作成し、閲覧端末300に送信する処理を行う(ステップ206)。当該処理を図9を用いて説明する。

【0075】

図9は、本発明の第1の実施の形態におけるマークコンテンツ情報作成・送信処理のフローチャートである。

【0076】

マークコンテンツ情報作成・送信部170は、受信部110から閲覧依頼(L)を受信し(ステップ401)、その中のユーザID(UID)をマーク情報保持部140に送り、そのユーザID(UID)に対応付けて記憶しているコンテンツID(CID)を特定

する（ステップ402）。このとき、レンタルの有無を表すフラグのデータがある場合には、まだレンタルされていないコンテンツのデータのみ取得してもよい。取得したコンテンツID（CID）をコンテンツ情報管理部160に送り、必要な情報を取得する（ステップ403）。例えば、コンテンツのタイトル、レンタル料金、現在の予約・貸出の可否情報等である。コンテンツ情報管理部160で保持するデータの例を図10に示す。その他、広告コンテンツの映像や、その他のコンテンツのお勧め情報が含まれていてもよい。これらの情報とコンテンツID（CID）を用いて、マークコンテンツ情報（C）を作成し、閲覧端末300に送信する（ステップ404）。

【0077】

閲覧端末300から予約依頼（R）を受信した場合は、その中に含まれるユーザID（UID）を用いてユーザ特定処理を行い、続けて予約受付処理を行う。このときのユーザ特定処理は、ユーザの認証を行うために、パスワードの入力などを要求する情報を閲覧端末300に送信する処理が追加される場合もある。予約受付処理は、予約管理部180が受信部110から予約依頼（R）を受け取り、その中に含まれるユーザID（UID）とコンテンツID（CID）と予約日時（D）、及びコンテンツ情報管理部160で保持する予約可否情報を用いて、そのコンテンツのレンタル予約を行う。

【0078】

図11は、本発明の第1の実施の形態における閲覧端末の処理のフローチャートである。

【0079】

まず、ユーザID（UID）の取得処理を行う。この処理は、メディア再生機器200における処理と同じであるので説明は省略する。

【0080】

ユーザID（UID）を用いて閲覧依頼（L）を作成し、センタ端末100に送信する（ステップ503、504）。そのレスポンスとしてマークコンテンツ情報（C）をセンタ端末100から受信し、表示部340で表示する（ステップ505）。その後、レンタル予約するためのユーザの入力を検出した場合（ステップ506）、ユーザID（UID）、マークコンテンツ情報（C）に含まれるコンテンツID（CID）、ユーザにより入力された予約日時（D）を用いて予約依頼（R）を作成し、センタ端末100に送信する（ステップ507）。このとき、センタ端末100からパスワードなどの入力を求める要求を受信し、ユーザからの入力を検出してセンタ端末100に送信する場合もある。レンタル予約するためのユーザの入力を受信しない場合は、そのまま終了する。

【0081】

図12は、本発明の第1の実施の形態におけるメディア再生機器とセンタ端末との間のシーケンスチャートである。

【0082】

メディア再生機器200において、ユーザID入力検出・保持処理を行う（ステップ601）。続けてパッケージID取得処理を行い（ステップ602）、メディア再生処理を行う（ステップ603）。ユーザの入力を検出して再生位置取得処理を行い（ステップ604）、マーク情報作成・送信処理（ステップ605）により、マーク情報（M）をセンタ端末100に送信する（ステップ606）。

【0083】

センタ端末100は、これを受信すると、ユーザ特定処理を行って（ステップ607）、特定されたらマーク情報保存処理を行う（ステップ608）。

【0084】

また、閲覧端末300において、ユーザID入力検出・保持処理が行われ（ステップ609）、閲覧依頼処理により閲覧依頼（L）が作成され（ステップ610）、センタ端末100に送信される（ステップ611）。

【0085】

センタ端末100は、これを受信するとユーザ特定処理を行って（ステップ612）、

マークコンテンツ情報 (C) を作成し、閲覧端末 300 に送信する (ステップ 613)。

【0086】

閲覧端末 300 は、これを受信して表示する。ユーザの入力により表示されたコンテンツのレンタル予約を行う場合には、予約依頼 (R) を作成し (ステップ 614)、センタ端末 100 に送信する (ステップ 615)。

【0087】

センタ端末 100 は、これを受信し、ユーザの特定処理を行い (ステップ 616)、予約受付処理を行う (ステップ 617)。

【0088】

[第2の実施の形態]

図 13 は、本発明の第2の実施の形態におけるシステム構成を示す。本実施の形態では、第1の実施の形態において、メディア再生機器 200 に実装されているとしたユーザ入力検出部 230、ユーザ ID 取得・保持部 240、パッケージ ID 保持部 250、マーク情報送信部 270 が携帯端末 400 に実装させたものである。つまり、これらの機器が、メディア再生機器 200 以外の端末に実装される場合を示す。

【0089】

図 13 において、図 3 と同一構成部分には同一符号を付し、その説明を省略する。また、センタ端末 100 が携帯端末 400 からマーク情報を受信した後の動作は、全て第1の実施の形態と同様であるので、説明は省略する。

【0090】

図 13 に示す各構成要素について説明する。

【0091】

メディア再生機器 200 は、メディア再生部 210、表示部 220、再生位置情報取得部 260、及び通信部 280 から構成される。

【0092】

通信部 280 は、携帯端末 400 とデータ通信を行うものであり、赤外線や Bluetooth などの無線通信や、バーコードの読み取りや IC カードなどのカードによるデータの送受信手段等が挙げられる。

【0093】

携帯端末 400 より再生位置情報取得依頼 (RT) を受信すると、再生位置情報取得部 260 に渡して再生位置情報 (T) の取得を依頼する。そして、再生位置情報 (T) を受け取ると、携帯端末 400 に送信する。それ以外の構成要素は、第1の実施の形態と同様である。

【0094】

携帯端末 400 は、ユーザ入力検出部 410、ユーザ ID 取得・保持部 420、パッケージ ID 保持部 430、マーク情報送信部 440、及び通信部 450 から構成される。

【0095】

パッケージ ID 保持部 430 は、ユーザからの入力を検出してパッケージ ID (PID) を特定し、保持する。メディア再生機器 200 で再生されているパッケージを特定するために、ユーザによるパッケージ ID (PID) の入力を検出することを想定したが、メディア再生機器 200 内にパッケージ ID を特定する手段を設け、通信部 280 を介して取得してもよい。

【0096】

また、ユーザ入力検出部 410 は、興味を持った広告コンテンツを特定するためのユーザの入力を検出すると、通信部 450 を介して再生位置情報取得依頼 (RT) をメディア再生機器 200 に送信する。

【0097】

通信部 450 は、メディア再生機器 200 から再生位置情報 (T) を受信したらマーク情報送信部 440 に渡す。

【0098】

次に、図14、図15を用いて処理の流れを説明する。

【0099】

図14は、本発明の第2の実施の形態における携帯端末の処理のフローチャートである。

【0100】

ユーザIDの取得処理（ステップ701）からパッケージIDの取得処理（ステップ704）までは、第1の実施の形態のメディア再生機器200の動作と同様であるため、その説明を省略する。

【0101】

広告コンテンツを特定するためのユーザの入力を検出したら、再生位置情報取得依頼（RT）を通信部450に渡して、通信部450は、これをメディア再生機器200に送信する（ステップ705、706）。そのレスポンスとして、メディア再生機器200から再生位置情報（T）を受信したら（ステップ707）、それをマーク情報送信部440に渡し、ユーザID（UID）、パッケージID（PID）、再生位置情報（T）を用いてマーク情報（M）を作成し、センタ端末100に送信して終了する（ステップ708）。

【0102】

図15は、本発明の第2の実施の形態におけるメディア再生機器の処理のフローチャートである。

【0103】

まず、メディア再生部210でパッケージメディアを再生し（ステップ801）、表示部220に表示する。通信部280が、携帯端末400から再生位置情報取得依頼（RT）を受信したら（ステップ802）、再生位置情報取得部260がこれを受け取り、再生位置情報（T）を取得して通信部280を介して携帯端末400に送信する（ステップ803）。

【0104】

図16は、本発明の第2の実施の形態における携帯端末とメディア再生機器との間のシーケンスチャートである。

【0105】

まず、携帯端末400がユーザID取得処理を行う（ステップ901）。次に、メディア再生機器200でパッケージメディア再生処理が行われ（ステップ902）、続けて携帯端末400でパッケージID取得処理が行われる（ステップ903）。そして、携帯端末400で再生位置情報取得依頼処理が行われ（ステップ904）、再生位置情報取得依頼（RT）がメディア再生機器200に送信される（ステップ905）。

【0106】

メディア再生機器200はこれを受信すると、再生位置情報取得処理を行い（ステップ906）、再生位置情報（T）を携帯端末400に送信する（ステップ907）。

【0107】

携帯端末400は、再生位置情報を受信すると、マーク情報作成・送信処理を行い（ステップ909）、センタ端末100にマーク情報（M）を送信する（ステップ910）。以降のシーケンスは、第1の実施の形態と同様であるので、その説明を省略する。

【0108】

〔第3の実施の形態〕

次に、本発明の第3の実施の形態について説明する。図17に第3の実施の形態におけるシステム構成を示す。本実施の形態は、第1の実施の形態に示したメディア再生機器200と閲覧端末100を1つの装置（メディア再生・閲覧端末205）としたものである。図17において、図3と同一構成部分には同一符号を付し、その説明を省略する。また、センタ端末100の動作は、第1の実施の形態と同様である。

【0109】

図17に示すメディア再生・閲覧端末205におけるユーザ入力検出部235は、図3に示すメディア再生機器200のユーザ入力検出部230と閲覧端末300のユーザ入力

検出部 310 の両方の機能を有している。また、図 17 に示すメディア再生・閲覧端末 205 におけるユーザ ID 取得・保持部 245 は、図 3 に示すメディア再生機器 200 のユーザ ID 取得・保持部 240 と閲覧端末 300 のユーザ ID 取得・保持部 320 の両方の機能を有している。メディア再生・閲覧端末 205 におけるその他の構成部分については、メディア再生機器 200 と閲覧端末 300 におけるユーザ入力検出部とユーザ ID 取得・保持部以外の部分と同じである。

【0110】

メディア再生・閲覧端末 205 におけるメディア再生時の動作は図 4 に示した動作と同じであり、情報閲覧時の動作は図 11 に示したものと同一である。

【0111】

図 18 は、本発明の第 3 の実施の形態におけるメディア再生・閲覧端末とセンタ端末との間のシーケンスチャートである。

【0112】

メディア再生・閲覧端末 205 において、ユーザ ID 入力検出・保持処理を行う（ステップ 951）。続けてパッケージ ID 取得処理を行い（ステップ 952）、メディア再生処理を行う（ステップ 953）。ユーザの入力を検出して再生位置取得処理を行い（ステップ 954）、マーク情報作成・送信処理（ステップ 955）により、マーク情報（M）をセンタ端末 100 に送信する（ステップ 956）。

【0113】

センタ端末 100 は、これを受信すると、ユーザ特定処理を行って（ステップ 957）、特定されたマーク情報保存処理を行う（ステップ 958）。

【0114】

また、メディア再生・閲覧端末 205 において、ユーザ ID 入力検出・保持処理が行われ（ステップ 959）、閲覧依頼処理により閲覧依頼（L）が作成され（ステップ 960）、センタ端末 100 に送信される（ステップ 961）。

【0115】

センタ端末 100 は、これを受信するとユーザ特定処理を行って（ステップ 962）、マークコンテンツ情報（C）を作成し、メディア再生・閲覧端末 205 に送信する（ステップ 963）。

【0116】

メディア再生・閲覧端末 205 は、これを受信して表示する。ユーザの入力により表示されたコンテンツのレンタル予約を行う場合には、予約依頼（R）を作成し（ステップ 964）、センタ端末 100 に送信する（ステップ 965）。

【0117】

センタ端末 100 は、これを受信し、ユーザの特定処理を行い（ステップ 966）、予約受付処理を行う（ステップ 967）。

【0118】

[第 4 の実施の形態]

図 19 は、本発明の第 4 の実施の形態におけるシステム構成を示す。本実施の形態は、ユーザの要求に応じて再生中のパッケージに含まれる広告コンテンツの一覧をユーザに示し、その中から興味を持ったコンテンツを選択するユーザに選択させて、そのコンテンツをマークしておくものである。

【0119】

センタ端末 100 がマーク情報を保持した後の動作については、第 2 の実施の形態と同様であるので、その説明は省略する。

【0120】

マーク端末 500 とは、第 1 の実施の形態の例におけるメディア再生機器 200、第 2 の実施の形態における携帯端末 400 に相当する。

【0121】

マーク端末 500 は、ユーザ入力検出部 510、ユーザ ID 取得・保持部 520、パッ

ページID保持部530、広告コンテンツ一覧依頼部540、マーク情報送信部550、及び表示部560から構成される。

【0122】

マーク端末500は、メディア再生機器でない場合もあるので、メディア再生部を備えることは必須ではない。

【0123】

ユーザ入力検出部510は、ユーザID (UID) やパッケージID (PID)、マーク情報の送信の決定などのユーザの入力を検出する。ここで、パッケージID (PID) は、パッケージに印刷された数字やバーコードなどをユーザの操作によって読み取らせるものとするが、メディア再生部を備える場合は、メディアに記録されているデジタルデータとして読み取る場合もある。

【0124】

パッケージID保持部530は、取得したパッケージID (PID) を保持し、広告コンテンツ一覧依頼部540に渡す。

【0125】

広告コンテンツ一覧依頼部540は、受け取ったパッケージID (PID) をセンタ端末100に送信する。

【0126】

マーク情報送信部550は、まず、センタ端末100より広告コンテンツ一覧 (AD) を受信し、表示部560に表示を依頼する。ここで、広告コンテンツ一覧 (AD) は、一つのパッケージ内に収録されている広告コンテンツのすべてのコンテンツID (CID) からなる。次に、ユーザの入力の検出により、表示部560に表示された広告コンテンツ一覧の中からマークするコンテンツのコンテンツID (CID) を特定し、ユーザID取得・保持部520より受け取ったユーザID (UID) と共にマーク情報 (M) を作成し、センタ端末100に送信する。

【0127】

その他の構成は、他の実施の形態と同様である。

【0128】

センタ端末100は、送受信部190、広告情報保持部150、マーク情報保持部140、ユーザ特定部120、ユーザ情報管理部130とを有する。

【0129】

送受信部190は、マーク端末500との間で各種データの送受信を行う。

【0130】

広告情報保持部150は、送受信部190からパッケージID (PID) を受け取ると、広告コンテンツ一覧 (AD) を作成し、送受信部190に送る。広告コンテンツ一覧 (AD) には、図7に示すようにパッケージID毎に保持しているすべての広告コンテンツのコンテンツID (CID) が含まれる。

【0131】

マーク情報保持部140は、送受信部190からマーク情報 (M) を受け取り、マーク情報に含まれるユーザID (UID) とコンテンツID (CID) を対応付けて保存する。

【0132】

ユーザ特定部120及びユーザ情報管理部130は、第1の実施の形態の例と同様である。

【0133】

次に、図20及び図21を用いて処理の流れを説明する。

【0134】

図20は、本発明は、第4の実施の形態におけるマーク端末の処理のフローチャートである。

【0135】

ユーザIDの取得処理、及び、パッケージIDの取得処理までは、第1の実施の形態のメディア再生機器の場合と同様であるため、その説明を省略する。

【0136】

ユーザの入力を検出し（ステップ1001、1002）、パッケージID（PID）をセンタ端末100に送信して広告コンテンツ一覧（AD）を要求する（ステップ1003～1005）。センタ端末100から広告コンテンツ一覧（AD）を受信したら表示部560に表示する（ステップ1006）。コンテンツを選択するユーザの入力を検出したら（ステップ1007）、選択されたコンテンツのコンテンツID（CID）を特定し、ユーザID（UID）を利用してマーク情報（M）を作成し、センタ端末100に送信する（ステップ1008）。

【0137】

図21は、本発明の第4の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャートである。

【0138】

マーク端末500から広告コンテンツ一覧を要求するためのパッケージID（PID）を受信すると（ステップ1101）、広告情報保持部150にパッケージID（PID）を送り（ステップ1102）、広告情報保持部150は広告コンテンツ一覧（AD）を作成し、送受信部190を介してマーク端末500に送信する（ステップ1103）。マーク端末500からマーク情報（M）を受信すると（ステップ1104）、ユーザ特定部120がその中に含まれるユーザID（UID）を使ってユーザを特定し、マーク情報保持部140がユーザID（UID）とマーク情報（M）に含まれるコンテンツID（CID）を対応付けて保存する（ステップ1105）。

【0139】

図22は、本発明の第3の実施の形態におけるマーク端末とセンタ端末との間のシーケンスチャートである。

【0140】

まず、マーク端末500でユーザIDの取得・保持処理（ステップ1201）、パッケージIDの取得・保持処理（ステップ1202）が行われる。ユーザの入力を検出して、パッケージID送信処理を行い（ステップ1203）、マーク端末500からセンタ端末100にパッケージID（PID）が送信される（ステップ1204）。

【0141】

センタ端末100は、パッケージID（PID）を受信し、広告コンテンツ一覧作成処理（ステップ1205）、広告コンテンツ送信処理（ステップ1206）が行われ、広告コンテンツ一覧（AD）がマーク端末500に送信される（ステップ1207）。

【0142】

マーク端末500は、広告コンテンツ一覧（AD）を受信し、広告コンテンツ一覧表示処理を行う（ステップ1208）。続けてユーザによるマークコンテンツ選択検出処理（ステップ1209）を行い、マーク情報作成・送信処理（ステップ1210）を行ってマーク情報（M）をセンタ端末100に送信する（ステップ1211）。センタ端末100は、マーク情報を受信し、マーク情報の保存処理を行う（ステップ1212）。

【0143】

以降のシーケンスは、第1の実施の形態の例の場合と同様である。

【0144】

上述のように、第1～第4の実施の形態によれば、パッケージメディアの再生機器において、再生コンテンツの任意の部分を選択するユーザの操作を検出し、その部分に関する詳細情報をユーザが希望する任意のタイミングで、再生機器あるいは、ユーザが表示を希望する任意の端末に表示することが可能となる。

【0145】

すなわち、ビデオやDVDなどのレンタルメディア内の他のコンテンツの広告を視聴したユーザが、簡単な操作をするだけでコンテンツをマークするだけで後から改めて閲覧す

ることが可能になる。その際に、その時点でのレンタル可否や、日時を指定した予約の可否などの付加的な情報をユーザに提供することが可能である。

【0146】

また、広告コンテンツを改めて視聴させることにより、広告の露出機会を増加させることも可能である。

【0147】

また、閲覧端末として携帯端末を用いることにより、マークしたコンテンツの情報を時間や場所を選ばずにユーザに提供することも可能である。

【0148】

さらに、ユーザの操作が行われた時間を使ってマークするコンテンツを特定するのではなく、一覧から選択させることにより、メディア再生機器をシステム中に介在させる必要がなくなる。

【0149】

さらに、課金手段を付加するだけで、有料優先予約サービスや割引予約サービスといった応答サービスを提供することも可能である。また、レンタルを開始していないコンテンツの広告コンテンツを利用する場合に、ユーザのマーク数によって需要予測の高精度化に役立てることも可能である。

【0150】

[第5の実施の形態]

まず、第5の実施の形態の概要について図23、24を参照して説明する。

図23は、第5の実施の形態の概要構成図である。

【0151】

第5の実施の形態の広告コンテンツ提供システムは、提供される映像コンテンツに付随する広告コンテンツを提供するためのものであり、情報取得部801と、広告コンテンツ管理テーブル830と、広告コンテンツ特定部802と、記憶部860と、通知時刻決定部803と、広告コンテンツ提供部870とを有している。

【0152】

情報取得部801は、映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報と、該映像コンテンツの中に含まれる広告コンテンツがユーザに提供されている際、または、任意の時間経過後にユーザの操作による時間情報を含む該広告コンテンツを特定するための情報と、ユーザの通知先情報を含むユーザ情報を取得する。広告コンテンツ管理テーブル830は、映像コンテンツにおける広告コンテンツの位置関係を記録した表である。広告コンテンツ特定部802は、映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報及び広告コンテンツを特定するための情報に基づいて、広告コンテンツ管理テーブル830を検索し、広告コンテンツを特定する。記憶部860は、ユーザ情報と特定された広告コンテンツに関連する情報を格納しておくものである。通知時刻決定部803は、記憶部860に格納されている広告コンテンツに関連する情報に応じてユーザに対する通知時刻を決定する。広告コンテンツ提供部870は、通知時刻になった時、広告コンテンツに関連する情報をユーザの通知先情報に基づいて提供するものである。

【0153】

上記システムの動作概要は図24に示す通りである。

【0154】

まず、映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報と、該映像コンテンツの中に含まれる広告コンテンツがユーザに提供されている際、または、任意の時間経過後に、ユーザの操作による時間情報を含む該広告コンテンツを特定するための情報と、ユーザの通知先情報を含むユーザ情報を取得する（ステップ1301）。

【0155】

そして、映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報及び広告コンテンツを特定するための情報に基づいて、映像コンテンツにおける広告コンテンツの位置関係を記録した表を検索し、広告コンテンツを特定する（ステップ1302）。ユーザ情報と特定された

広告コンテンツに関連する情報を格納しておき（ステップ1303）、広告コンテンツに関連する情報に応じてユーザに対する通知時刻を決定し（ステップ1304）、通知時刻になった時、広告コンテンツに関連する情報をユーザに提供する（ステップ1305）。

【0156】

以下、第5の実施の形態をより詳細に説明する。

【0157】

本実施の形態では、映画館で上映される映画を鑑賞する場合の例を用いて説明する。映画で本編と同時に上映される予告編のうち、ユーザが興味を覚えた映画の情報をセンタ端末で記録しておき、その映画が公開される直前、あるいは、直後にユーザに改めて通知することで、ユーザは公開された事実を忘れることなく、映画館に足を運ぶことが可能になる。

【0158】

図25は、本発明の第5の実施の形態におけるシステム構成を示す。

【0159】

同図に示すシステムは、上映される映画の情報をユーザの携帯端末700に送信する上映場所端末600と、ユーザが映画を鑑賞中に携帯して操作を行う携帯端末700と、ユーザの要求によりユーザが興味を覚えたコンテンツを記録し、改めて当該コンテンツに関連する情報をユーザに通知するセンタ端末800とで構成される。

【0160】

上映場所端末600は、例えば、映画館の入口の受付などに設置されることを想定する。

【0161】

携帯端末700とセンタ端末800との間は、インターネットなどの無線通信回線で接続されているものとし、携帯端末700と上映場所端末600との間は、前述のような無線通信あるいは、赤外線通信やバーコードを読み取るといった近距離無線通信が可能であるとする。

【0162】

また、本実施の形態では、ユーザが記録を依頼する端末と、改めて情報を受信する端末は同一の携帯端末としているが、別端末で実装してもよい。

【0163】

上映場所端末600は、上映情報送信部610を備え、携帯端末700からの上映情報の要求に従い、上映情報として上映コンテンツ情報（C）、上映場所情報（L）を携帯端末700に送信する。ここで、上映コンテンツ情報（C）とは、携帯端末700を所持するユーザが鑑賞している映画を一意に識別するための情報である。また、上映場所情報（L）とは、当該映画を上映している映画館を一意に識別するための情報である。すべての映画館が一意に識別されるように付与されている場合もあるが、複数の映画館を系列会社が運営している状況などでは、その複数の映画館を一つの対象として識別されるように付与されている場合もある。携帯端末700への送信手段として、無線インターネット、無線LAN、赤外線通信、Bluetoothなどの無線通信手段や、バーコードやICチップを用いて情報を読み取る手段などを想定する。本実施の形態では、上映場所端末600から携帯端末700に送信されるものとして説明するが、携帯端末700は、任意のwebサイトからの上映情報を取得する場合もある。

【0164】

携帯端末700は、上映情報受信部710、ユーザ入力部720、時間情報取得部730、記録依頼送信部740、ユーザ情報保持部750、通知受信部760、表示部770、記録コンテンツ情報保持部880から構成される。

【0165】

上映情報受信部710は、上映場所端末600に上映情報を要求し、上映コンテンツ情報（C）と上映場所情報（L）を受信し保持する。これらの情報は、webサイトから受信する場合もある。

【0166】

ユーザ情報保持部750は、ユーザの操作により予めセンタ端末800にユーザ登録が行われているものとし、その際に用いたユーザ情報(U)を保持する。ユーザ情報(U)は、ユーザを一意に識別できるものとし、予め携帯端末700に付与されている場合もあり、センタ端末800から付与される場合もある。

【0167】

ユーザ入力部720は、上映コンテンツに含まれる予告編に興味を覚えたユーザの入力を検出し、その時の時刻を取得するよう、時間情報取得部730に要求する。

【0168】

時間情報取得部730は、時計が内蔵されているものとし、ユーザ入力部720からの要求を受けた時刻を取得して、時間情報(T)として保持する。

【0169】

記録依頼送信部740は、上映情報受信部710から上映コンテンツ情報(C)と上映場所情報(L)、ユーザ情報保持部750からユーザ情報(U)、時刻取得部730から時間情報(T)を受け取り、これらの情報を含む記録依頼(R)を作成し、センタ端末800に送信する。作成及び送信のタイミングは、時刻情報取得部730が時間情報(T)を保持した直後でもよいし、記録を要求するユーザの入力を改めて検出した時でもよい。

【0170】

通知情報受信部760は、センタ端末800から通知情報(I)を受信する。通知情報(I)には、当該ユーザが以前センタ端末800に記録を依頼したコンテンツに関する情報(記録コンテンツ情報(RC)詳しくは後述する)と、記録を要求する契機を得た上映場所情報(L)が含まれる。

【0171】

表示部770は、通知情報受信部760から記録コンテンツ情報(RC)を受け取り、ユーザに対して表示する。

【0172】

記録コンテンツ情報保持部780は、通知情報受信部760から記録コンテンツ情報(RC)及び上映場所情報(L)を受け取り、保持する。

【0173】

これらの情報を用いることで、上映場所情報(L)で特定される映画館で記録コンテンツ情報(RC)で特定される映画を鑑賞する際に、割引料金などのサービスに応用することが可能である。

【0174】

センタ端末800は、記録依頼受信部810、ユーザ情報管理部820、予告編情報管理部830、関連情報保持部840、通知情報確認部850、記録部860、通知部870から構成される。

【0175】

記録依頼受信部810は、携帯端末700から記録依頼(R)を受信し、その中に含まれる情報のうち、ユーザ情報(U)をユーザ情報管理部820に渡して、ユーザの特定を依頼し、上映コンテンツ情報(C)と時間情報(T)と上映場所情報(L)を予告編情報管理部830に渡し、ユーザが予告編を観て興味を覚えて記録を依頼しているコンテンツ(記録コンテンツ情報(RC))の特定を依頼する。さらに、上映場所情報(L)を記録部860に渡して、記録を依頼する。

【0176】

ユーザ情報管理部820は、予めユーザの要求により登録を受け付け、ユーザ情報(U)と共に、通知先アドレス(A)を保持する。通知先アドレス(A)は、センタ端末800からユーザに改めて記録コンテンツに関する情報を通知する際に用いる。ユーザ情報(U)は、予め端末に付与されている場合もあるが、登録時にセンタ端末800から付与する場合もある。記録依頼受信部810からユーザ情報(U)を受け取ると、そのユーザ情報(U)とともに保持している通知先アドレス(A)を特定し、記録部860に渡す。

【0177】

予告編情報管理部 830 は、上映場所毎に上映スケジュールとその中で上映される予告編に関する情報を保持する。そのデータ例を図 26 に示す。上映コンテンツ毎に、本編及び予告編の上映開始・終了時刻と、予告編のコンテンツ情報を保持する。上映コンテンツ情報 (C) 及び予告編のコンテンツ情報のフィールドで保存されるデータは、コンテンツを一意に識別するために付与されるものである。記録依頼受信部 810 から上映コンテンツ情報 (C)、時間情報 (T)、上映場所情報 (L) を受け取ると、保持する予告編情報を用いて記録コンテンツ情報 (RC) を特定し、関連情報保持部 840 に渡す。

【0178】

関連情報保持部 840 は、記録コンテンツ情報 (RC) から関連情報 (CI) を特定する関連情報テーブル 841 を保持している。特定される関連情報 (CI) とは、タイトル、出演者一覧、あらすじ、静止画像などである。予告編情報管理部 830 から記録コンテンツ情報 (RC) を受け取ると、保持している関連情報テーブル 841 を用いて対応する関連情報 (CI) を特定し、記録部 860 に渡す。関連情報テーブル 841 の例を図 27 に示す。

【0179】

記録部 860 は、記録依頼受信部 810 から上映場所情報 (L) を受信して記録コンテンツの記録を依頼されると、ユーザ情報管理部 820 から通知先アドレス (A)、関連情報保持部 840 から関連情報 (CI) を受け取り、これらの情報を記録保持する。このとき、関連情報 (CI) を改めてユーザに通知する日時を特定し、合わせて記録するものとする。その方法は、例えば、記録コンテンツがまだ公開になっていなければ、公開日に近い日時などを特定する。このとき、同時に特定及び記録できなかった場合は、後日センタ端末 800 の管理者の手によって記録してもよい。また、ユーザに通知を希望する日時を入力するように要求し、ユーザが入力した日時を記録する場合もある。記録されるデータの例を図 28 に示す。さらに、通知情報確認部 850 より、通知情報確認依頼 (CF) を定期的に受け、通知すべき情報がある場合には保持している関連情報 (CI)、上映場所情報 (L)、通知先アドレス (A) を通知部 870 に渡し、通知を依頼する。ここで、通知情報確認依頼 (CF) とは、通知情報確認部 850 が、通知すべき情報の有無を定期的に記録部 860 に確認するためのもので、時刻の情報を含むものとする。

【0180】

通知情報確認部 850 は、定期的に時刻の情報を含む通知情報確認依頼 (CF) を作成し、記録部 860 に通知すべき情報の有無の確認を依頼する。

【0181】

通知部 870 は、記録部 860 から関連情報 (CI)、上映場所情報 (L) を受け取り、これらを含む通知情報 (I) を作成する。また、通知先アドレス (A) を同時に受け取り、これにより、ユーザ端末 (携帯端末 700) を特定して通知情報 (I) を送信する。

【0182】

次に、上記の構成における動作を説明する。

【0183】

図 29 は、本発明の第 5 の実施の形態における上映場所端末の処理のフローチャートである。

【0184】

上映場所端末 600 は、携帯端末 700 から上映情報要求を受信するまで待機し (ステップ 1401)、受信後、携帯端末 700 に上映情報として、上映コンテンツ情報 (C)、上映場所情報 (L) を送信して終了する (ステップ 1402)。

【0185】

図 30 は、本発明の第 5 の実施の形態における携帯端末の処理のフローチャート (その 1) であり、ユーザがセンタ端末 800 に興味を覚えた予告編の情報の記録を依頼するまでの処理を示す。

【0186】

まず、上映場所端末 600 に上映情報を要求及び受信する（ステップ 1501、1502）。次に、ユーザの入力を検出するために待機し（ステップ 1503）、検出した場合に、その時の時間情報（T）を取得する（ステップ 1504）。予め保持しているユーザ情報（U）、上映場所端末 600 から受信した上映コンテンツ情報（C）、及び上映場所情報（L）、取得した時間情報（T）を用いて記録依頼を作成し、センタ端末 800 に送信して終了する（ステップ 1505）。

【0187】

図 31 は、本発明の第 5 の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャート（その 1）であり、ユーザ（携帯端末 700）から依頼された記録を行うまでを示す。

【0188】

まず、携帯端末 700 から記録依頼（R）を受信するために待機し（ステップ 1601）、受信したらユーザ情報（U）を用いてユーザ情報の特定処理を行う（ステップ 1602）。次に、記録コンテンツ情報（RC）、及び関連情報（CI）の特定を行い、記録処理を行い処理を終了する。

【0189】

図 32 は、本発明の第 5 の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャート（その 2）であり、携帯端末 700 に関連情報（CI）を通知する処理を示す。

【0190】

センタ端末 800 は、まず、定期的に通知すべき情報があるかどうか確認し、（ステップ 1701）、ある場合には、保持している情報から通知情報を作成し、携帯端末 700 に送信して終了する（ステップ 1702）。

【0191】

図 33 は、本発明の第 5 の実施の形態における携帯端末の処理のフローチャート（その 2）であり、センタ端末 800 からの通知情報（I）を受信する処理を示す。

【0192】

携帯端末 700 は、通知情報（I）を受信するために待機し（ステップ 1801）、受信したらその中に含まれる関連情報（CI）を表示部 770 を用いて表示する（ステップ 1802）。次に、記録コンテンツ情報保持部 780 を用いて関連情報（CI）と上映場所情報（L）を保持する（ステップ 1803）。

【0193】

図 34 は、本発明の第 5 の実施の形態における上映場所端末と携帯端末とセンタ端末間のシーケンスチャートである。

【0194】

まず、携帯端末 700 から上映場所端末 600 に上映情報要求が行われ（ステップ 1901）、上映場所端末 600 から携帯端末 700 に上映情報として上映コンテンツ情報（C）と上映場所情報（L）が送信される（ステップ 1902）。携帯端末 700 は、これを受信し（ステップ 1903）、ユーザ入力検出処理を経て（ステップ 1904）、時間情報取得処理を行い（ステップ 1905）、記録依頼作成・送信処理により、記録依頼（R）をセンタ端末 800 に送信する（ステップ 1906）。これを受信した（ステップ 1907）センタ端末 800 は、ユーザ情報特定処理（ステップ 1908）、記録コンテンツ情報及び関連情報特定処理を経て（ステップ 1909）、記録処理を行う（ステップ 1910）。

【0195】

図 35 は、本発明の第 5 の実施の形態における携帯端末とセンタ端末間の記録コンテンツに関する情報の通知が行われるまでのシーケンスチャートである。

【0196】

まず、センタ端末 800 において、通知すべき情報の有無を確認する処理が行われ（ステップ 2001）、ある場合には通知情報（I）が作成され、携帯端末 700 に送信される（ステップ 2002）。携帯端末 700 は、通知情報（I）を受信し（ステップ 2003）、当該通知情報（I）を表示部 770 に表示し（ステップ 2004）、通知情報を記

録コンテンツ情報保持部 780 に保持する (ステップ 2005)。

【0197】

[第6の実施の形態]

本実施の形態では、電波やインターネットなどの通信網により放送される映像を視聴する場合について説明する。

【0198】

図36は、本発明の第6の実施の形態におけるシステム構成を示す。

【0199】

同図に示すシステムは、ユーザが映像を受信して視聴する視聴端末 900 と、センタ端末 800 と、センタ端末 800 からの通知を受信する携帯端末 1000 から構成される。ここでは、視聴端末 900 と携帯端末 1000 を分離して説明するが、1つの端末として構成される場合もある。

【0200】

視聴端末 900 は、前述の第5の実施の形態における携帯端末 700 の構成とはほぼ同じである。異なるのは、映像受信部 910、コンテンツ情報保持部 920 を備えていることである。

【0201】

ユーザが視聴する映像が電波で放送されている場合、映像受信部 910 は、放送される映像信号を受信し、映像を表示する。そして、このとき、チューニングされているチャンネル番号 (CH) を取得し、コンテンツ情報保持部 930 に渡す。コンテンツ情報保持部 930 は、このチャンネル番号 (CH) を保持する。

【0202】

ユーザが視聴する映像を通信網から受信する場合、映像受信部 910 は、この映像信号と受信した映像を一意に識別するためのコンテンツ情報 (C1) (第5の実施の形態における上映コンテンツ情報に相当) を受信して映像を表示すると共に、コンテンツ情報 (C1) をコンテンツ情報保持部 930 に渡す。コンテンツ情報保持部 930 は、これを保持する。

【0203】

ユーザ入力部 940 でユーザ入力を検出後、時間情報取得部 950 で、時間情報 (T) を取得する。その他は第5の実施の形態と同様である。

【0204】

また、携帯端末 1000 は、前述の第5の実施の形態における通知受信部 760、表示部 770、記録コンテンツ情報保持部 780 と全く同様である。

【0205】

また、センタ端末 800 は、前述の第1の実施の形態の構成と全く同様である。ただ、センタ端末 800 が備える予告編情報管理部 830 が保持するデータは、電波放送の場合はチャンネル、通信網で放送される場合には、URL などの接続先毎、時刻と CM をマッピングさせたデータである。そのデータの例を図37に示す。第5の実施の形態とは異なり、記録するコンテンツは予告編ではなく、CM である。つまり、記録コンテンツ情報 (RC) の代わりに、CM 情報 (CM) を特定し、保持している CM 情報 (CM) と関連情報 (CI) を対応させるテーブルから関連情報 (CI) を特定するものとする。

【0206】

なお、CM 情報 (CM) をユーザに通知する通知時刻は、当該 CM 情報の予め指定された配信開始日時以降の日時や、ユーザから指定された日時、または、記録部 860 に定期的に通知する旨が記録されている場合には、定期的に配信する日時に応じて決定するものとする。

【0207】

他の処理のフロー、各端末間のシーケンスは、前述の第5の実施の形態と同様である。

【0208】

[第7の実施の形態]

本実施の形態では、DVDなどの記録媒体に記録されている映像データのうち、本編に付随して記録されている予告編などのコンテンツを記録する場合について説明する。

【0209】

図38は、本発明の第7の実施の形態におけるシステム構成を示す。

【0210】

同図に示すシステムは、前述の第6の実施の形態とほぼ同じである。視聴端末900は、映像受信部910の代わりに映像再生部970を備える。映像再生部970は、DVDなどの記録媒体を格納し、その中に記録されている映像信号を読み込んで映像を再生する。また、第6の実施の形態におけるコンテンツ情報(C1)の代わりにパッケージ情報(C2)を取得するが、映像再生部970が記憶媒体の中に記録されているパッケージ情報(C2)を読み取る場合と、ユーザの入力を検出して取得する場合がある。ユーザによる入力、キーボード入力、赤外線や近距離無線、ICチップなどによる。

【0211】

コンテンツ情報保持部920は、取得したパッケージ情報(C2)を保持する。

【0212】

また、時間情報取得部950が取得する時間情報(T)は、記録されている映像の開始から相対的な時間である場合や、再生箇所を特定できる映像フレームの番号である場合がある。

【0213】

センタ端末800において、予告編情報保持部830が保持するデータは、パッケージデータ(C2)と時間情報(T)を用いて、記録コンテンツ情報(RC)を特定できるデータである。データ例を図39に示す。

【0214】

なお、パッケージの予告編に対応するCM情報(CM)をユーザに通知する通知時刻は、当該CM情報の予め指定された配信開始日時以降の日時や、ユーザから指定された日時、または、記録部860に定期的に通知する旨が記録されている場合には、定期的に配信する日時に応じて決定するものとする。

【0215】

以下、センタ端末800及び携帯端末700が備える手段や、各端末の処理フロー及び各端末間の処理シーケンスは、前述の第6の実施の形態と同様であるため、その説明を省略する。

【0216】

[第8の実施の形態]

次に、本発明の第8の実施の形態について説明する。

【0217】

図40は、本発明の第8の実施の形態におけるシステム構成を示す。

【0218】

同図に示すシステムは、第6もしくは第7の実施の形態における視聴端末900と携帯端末1000を1つの装置で実現した視聴・携帯端末905を有している。センタ端末の構成は第6もしくは第7の実施の形態と同じである。

【0219】

視聴・携帯端末905の構成は、第6もしくは第7の実施の形態における視聴端末900の構成部分と携帯端末1000の構成部分とをそのまま含むものである。なお、映像再生部975は、第6の実施の形態の機能を奏する場合には、映像受信部と称することができる。本実施の形態におけるシステムの動作は、視聴端末900と携帯端末1000とが視聴・携帯端末905として動作することを除き、第6もしくは第7の実施の形態におけるシステムの動作と同様である。

【0220】

上述のように、第5～第8の実施の形態によれば、映画、テレビ、ビデオやDVDなどの記録媒体、その他によって提供される映像コンテンツ(本編)に付随する広告コンテ

ツに興味を覚えたユーザは、簡単な操作を行うだけでそのコンテンツを記録することができ、また、記録したことを忘れてしまっても適当なタイミングで通知して貰えることで、記録したコンテンツを視聴する機会を逃すことが少なくなる。

【0221】

また、映像コンテンツを提供する側にとっては、興味を覚えてくれたユーザに適切なタイミングで、かつ同じ場所で再び視聴する機会を与えることができる。また、記録する情報は、コンテンツに関するものだけでなく、商品の関連情報などをその発売直前に通知するなどの応用も可能である。

【0222】

なお、各実施の形態におけるセンタ端末やユーザ側の端末は、CPU、メモリ、ハードディスク等の記憶手段、及び通信装置等を備えたコンピュータを用いて実現することが可能である。すなわち、コンピュータを本発明における各処理手段として機能させるプログラムを、当該コンピュータにインストールして実行することにより、センタ端末やユーザ側の端末として機能する装置を実現できる。

【0223】

また、プログラムを各端末として利用されるコンピュータに接続されるハードディスク装置や、フレキシブルディスク、CD-ROM等の可搬記憶媒体に格納しておき、本発明を実施する際にインストールすることも可能である。また、プログラムをネットワークを介してコンピュータにダウンロードしてインストールすることも可能である。

【0224】

なお、本発明は、上記の実施例に限定されることなく、特許請求の範囲内において、種々変更・応用が可能である。

【図面の簡単な説明】

【0225】

【図1】本発明の第1の実施の形態におけるシステムの概略構成図である。

【図2】本発明の第1の実施の形態におけるシステムの動作の概要を説明するための図である。

【図3】本発明の第1の実施の形態におけるシステム構成図である。

【図4】本発明の第1の実施の形態におけるメディア再生機器の処理のフローチャートである。

【図5】本発明の第1の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャートである。

【図6】本発明の第1の実施の形態におけるセンタ端末におけるマーク情報保存処理のフローチャートである。

【図7】本発明の第1の実施の形態における広告情報保持部で保持するデータの例である。

【図8】本発明の第1の実施の形態におけるセンタ端末のマーク情報保持部で保持するデータの例である。

【図9】本発明の第1の実施の形態におけるマークコンテンツ情報作成・送信処理のフローチャートである。

【図10】本発明の第1の実施の形態におけるコンテンツ情報管理部で保持するデータの例である。

【図11】本発明の第1の実施の形態における閲覧端末の処理のフローチャートである。

【図12】本発明の第1の実施の形態におけるメディア再生機器とセンタ端末間との間のシーケンスチャートである。

【図13】本発明の第2の実施の形態におけるシステム構成図である。

【図14】本発明の第2の実施の形態における携帯端末の処理のフローチャートである。

【図15】本発明の第2の実施の形態におけるメディア再生機器の処理のフローチャ

ートである。

【図 16】本発明の第 2 の実施の形態における携帯端末とメディア再生機器との間のシーケンスチャートである。

【図 17】本発明の第 3 の実施の形態におけるシステム構成図である。

【図 18】本発明の第 3 の実施の形態におけるメディア再生・閲覧端末とセンタ端末との間のシーケンスチャートである。

【図 19】本発明の第 4 の実施の形態におけるシステム構成図である。

【図 20】本発明の第 4 の実施の形態におけるマーク端末の処理のフローチャートである。

【図 21】本発明の第 4 の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャートである。

【図 22】本発明の第 4 の実施の形態におけるマーク端末とセンタ端末との間のシーケンスチャートである。

【図 23】本発明の第 5 の実施の形態におけるシステム構成の概略を示す図である。

【図 24】本発明の第 5 の実施の形態におけるシステム動作の概略を示す図である。

【図 25】本発明の第 5 の実施の形態におけるシステム構成図である。

【図 26】本発明の第 5 の実施の形態におけるセンタ端末の予告編情報管理で保持されるデータの例である。

【図 27】本発明の第 5 の実施の形態におけるセンタ端末の関連情報テーブルの例である。

【図 28】本発明の第 5 の実施の形態におけるセンタ端末の記録部に記録されるデータの例である。

【図 29】本発明の第 5 の実施の形態における上映場所端末の処理のフローチャートである。

【図 30】本発明の第 5 の実施の形態における携帯端末の処理のフローチャート（その 1）である。

【図 31】本発明の第 5 の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャート（その 1）である。

【図 32】本発明の第 5 の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャート（その 2）である。

【図 33】本発明の第 5 の実施の形態における携帯端末の処理のフローチャート（その 2）である。

【図 34】本発明の第 5 の実施の形態における上映場所端末と携帯端末とセンタ端末間のシーケンスチャートである。

【図 35】本発明の第 5 の実施の形態における携帯端末とセンタ端末間の記録コンテンツに関する情報の通知が行われるまでのシーケンスチャートである。

【図 36】本発明の第 6 の実施の形態におけるシステム構成図である。

【図 37】本発明の第 6 の実施の形態におけるセンタ端末の予告情報管理部で保存されるデータの例である。

【図 38】本発明の第 7 の実施の形態におけるシステム構成図である。

【図 39】本発明の第 7 の実施の形態における予告編情報管理部が保持するデータの例である。

【図 40】本発明の第 8 の実施の形態におけるシステム構成図である。

【符号の説明】

【0226】

100 センタ端末

110 受信部

120 ユーザ特定部

130 ユーザ情報管理部

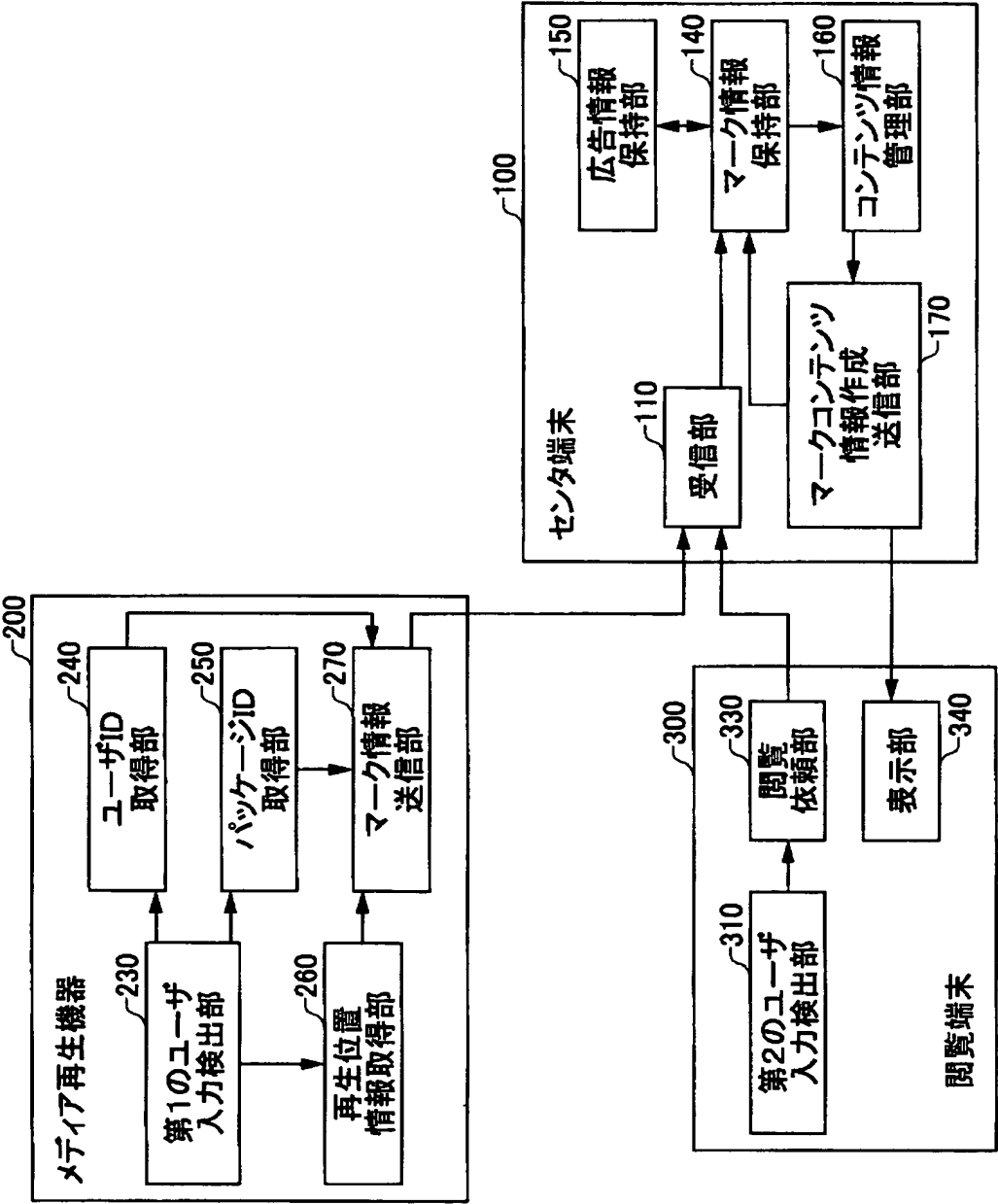
140 マーク情報保持部、マーク情報保持部

1 5 0 広告情報保持部、広告情報保持部
1 6 0 コンテンツ情報管理部、コンテンツ情報管理部
1 7 0 マークコンテンツ情報作成・送信部、マークコンテンツ情報作成・送信部
1 8 0 予約管理部
1 9 0 送受信部
2 0 0 メディア再生機器
2 0 5 メディア再生・閲覧端末
2 1 0 メディア再生部
2 2 0 表示部
2 3 0、2 3 5 第 1 のユーザ入力検出部、ユーザ入力検出部
2 4 0、2 4 5 ユーザ I D 取得部、ユーザ I D 取得・保持部
2 5 0 パッケージ I D 取得部、パッケージ I D 保持部
2 6 0 再生位置情報取得部、再生位置情報取得部
2 7 0 マーク情報送信部、マーク情報送信部
3 0 0 閲覧端末
3 1 0 第 2 のユーザ入力検出部
3 2 0 ユーザ I D 取得・保持部
3 3 0 閲覧依頼部、マークコンテンツ情報閲覧依頼部
3 4 0 表示部
3 5 0 予約依頼部
4 0 0 携帯端末
4 1 0 ユーザ入力検出部
4 2 0 ユーザ I D 取得・保持部
4 3 0 パッケージ I D 保持部
4 4 0 マーク情報送信部
4 5 0 通信部
5 0 0 マーク端末
5 1 0 ユーザ入力検出部
5 2 0 ユーザ I D 取得・保持部
5 3 0 パッケージ I D 保持部
5 4 0 広告コンテンツ一覧依頼部
5 5 0 マーク情報送信部
5 6 0 表示部
6 0 0 上映場所端末
6 1 0 上映情報送信部
7 0 0 携帯端末
7 1 0 上映情報受信部
7 2 0 ユーザ入力部
7 3 0 時間情報取得部
7 4 0 記録依頼送信部
7 5 0 ユーザ情報保持部
7 6 0 通知受信部
7 7 0 表示部
7 8 0 記録コンテンツ情報保持部
8 0 0 センタ端末
8 0 1 情報取得部
8 0 2 広告コンテンツ特定部
8 0 3 通知時刻決定部
8 1 0 記録依頼受信部
8 2 0 ユーザ情報管理部

8 3 0 広告コンテンツ管理テーブル、予告編情報管理部
 8 4 0 関連情報保持部
 8 4 1 関連情報テーブル
 8 5 0 通知情報確認部
 8 6 0 記憶部
 8 7 0 広告コンテンツ提供部、通知部
 9 0 0 視聴端末
 9 0 5 視聴・携帯端末
 9 1 0 映像受信部
 9 2 0 コンテンツ情報保持部
 9 3 0 ユーザ情報保持部
 9 4 0 ユーザ入力部
 9 5 0 時間情報取得部
 9 6 0 記録依頼送信部
 9 7 0、9 7 5 映像再生部
 1 0 0 0 携帯端末
 1 0 1 0 通知受信部
 1 0 2 0 表示部
 1 0 3 0 記録コンテンツ情報保持部

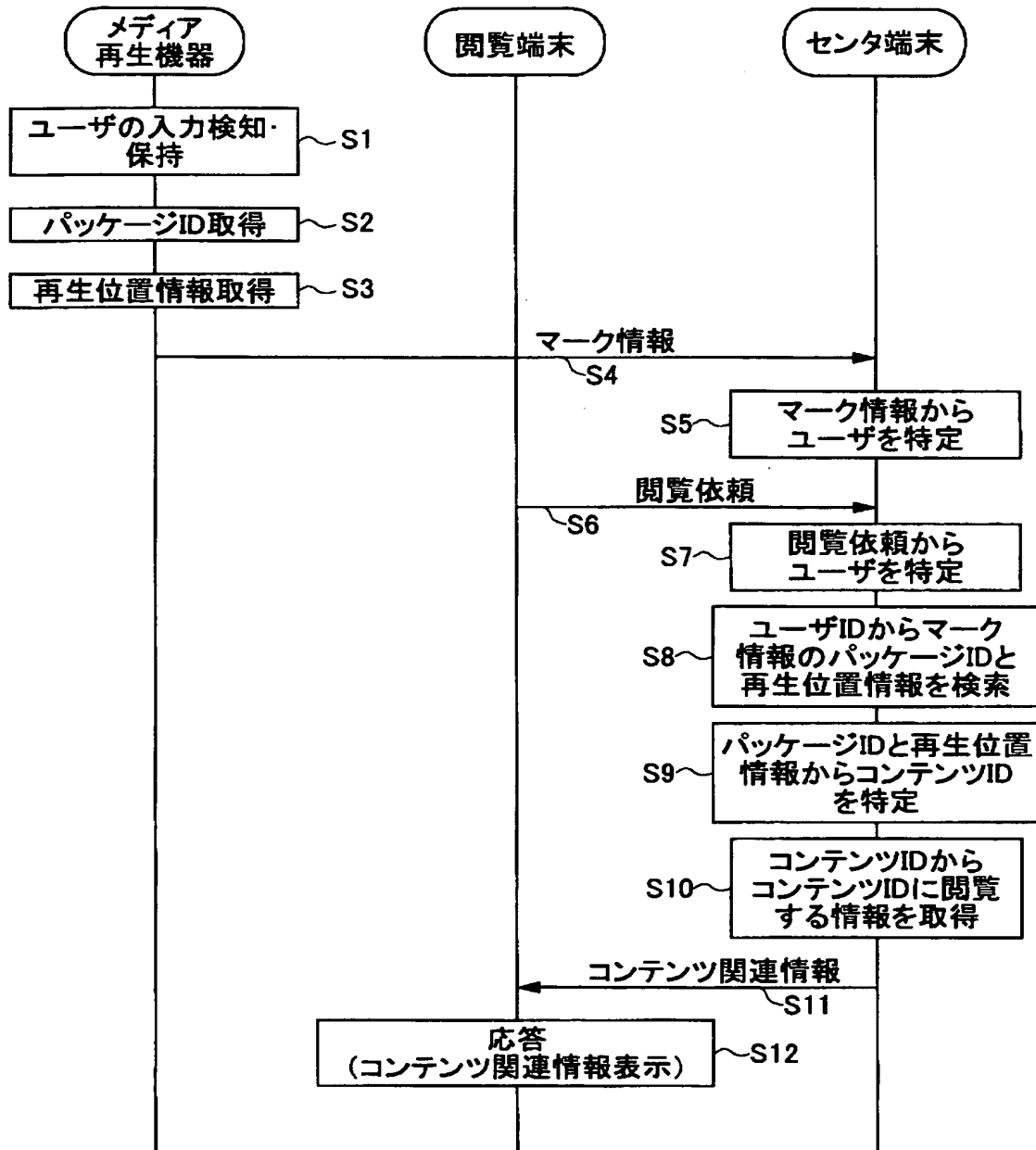
【書類名】 図面
【図 1】

本発明の第1の実施の形態におけるシステムの概略構成図



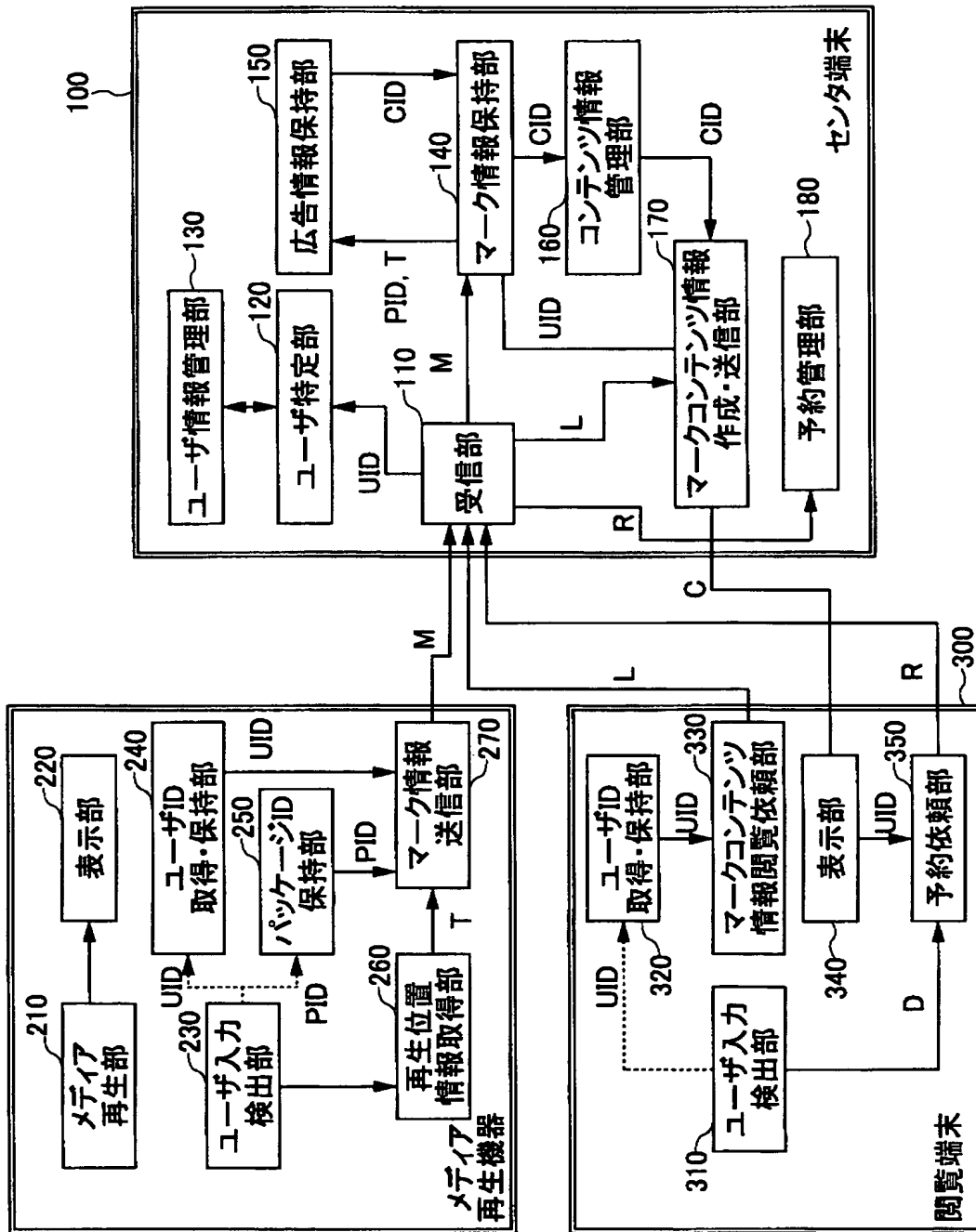
【図 2】

本発明の第1の実施の形態におけるシステムの
動作の概要を説明するための図



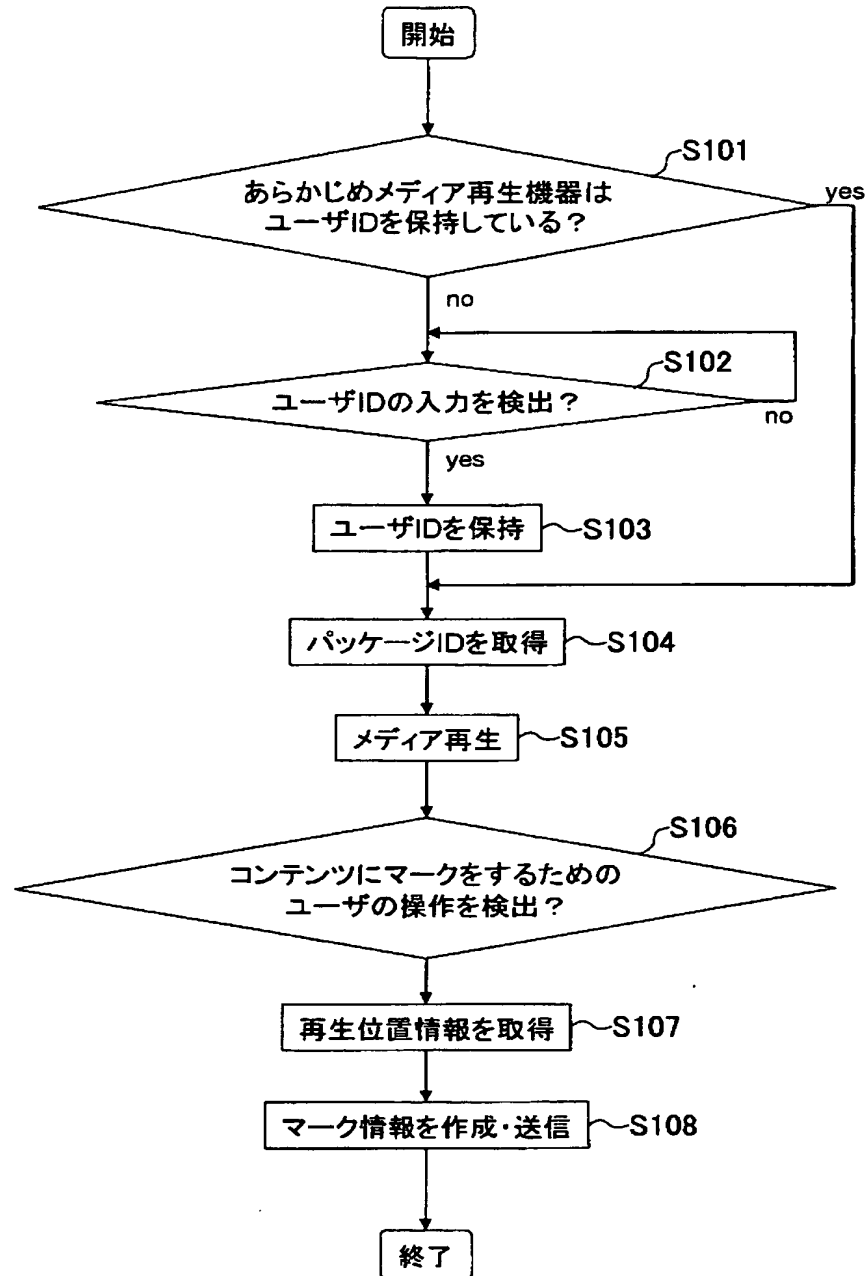
【図3】

本発明の第1の実施の形態におけるシステム構成図



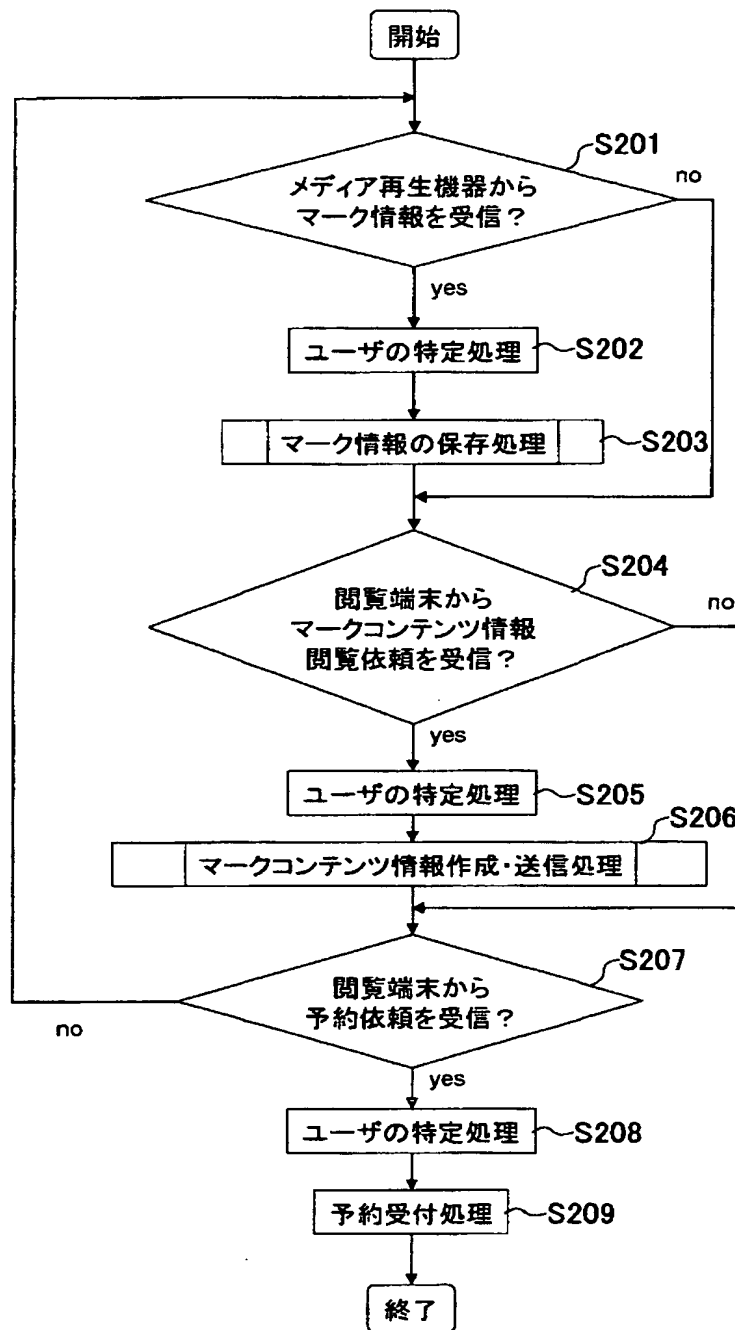
【図 4】

本発明の第1の実施の形態におけるメディア再生機器の処理のフローチャート



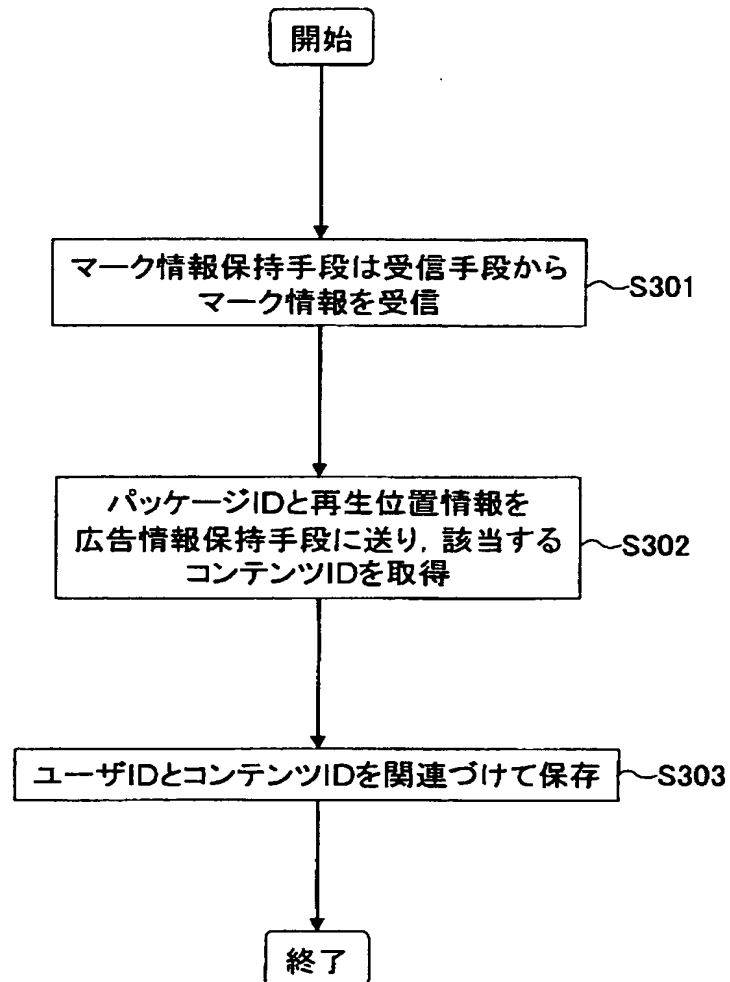
【図 5】

本発明の第1の実施の形態におけるセンタ端末の処理のフローチャート



【図 6】

本発明の第1の実施の形態における
センタ端末におけるマーク情報保存処理のフローチャート



【図 7】

本発明の第1の実施の形態における
広告情報保持部で保持するデータの例

パッケージID毎に保持

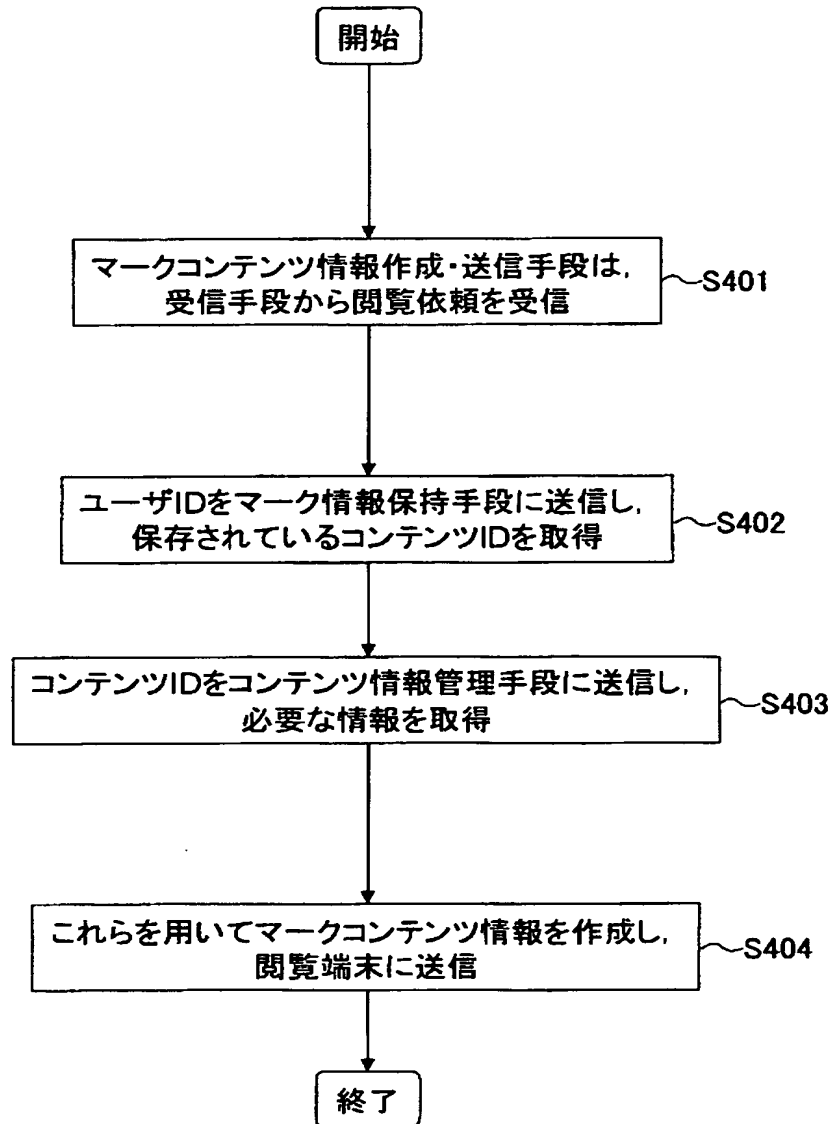
再生位置情報	00:02:35 00:03:05	00:03:05 00:03:35	00:03:35 00:04:20	00:04:20 00:04:50	00:04:50 00:05:50
コンテンツID	0005	0124	0057	0348	5768

【図 8】

本発明の第1の実施の形態におけるセンタ端末の
マーク情報保持部で保持するデータの例

ユーザID	コンテンツID	マーク日時	レンタル有無
User-a	0005	2002/06/30 22:23	0
User-d	5648	2002/07/01 01:51	0

【図 9】

本発明の第1の実施の形態におけるマークコンテンツ
情報作成・送信処理のフローチャート

【図 1 0】

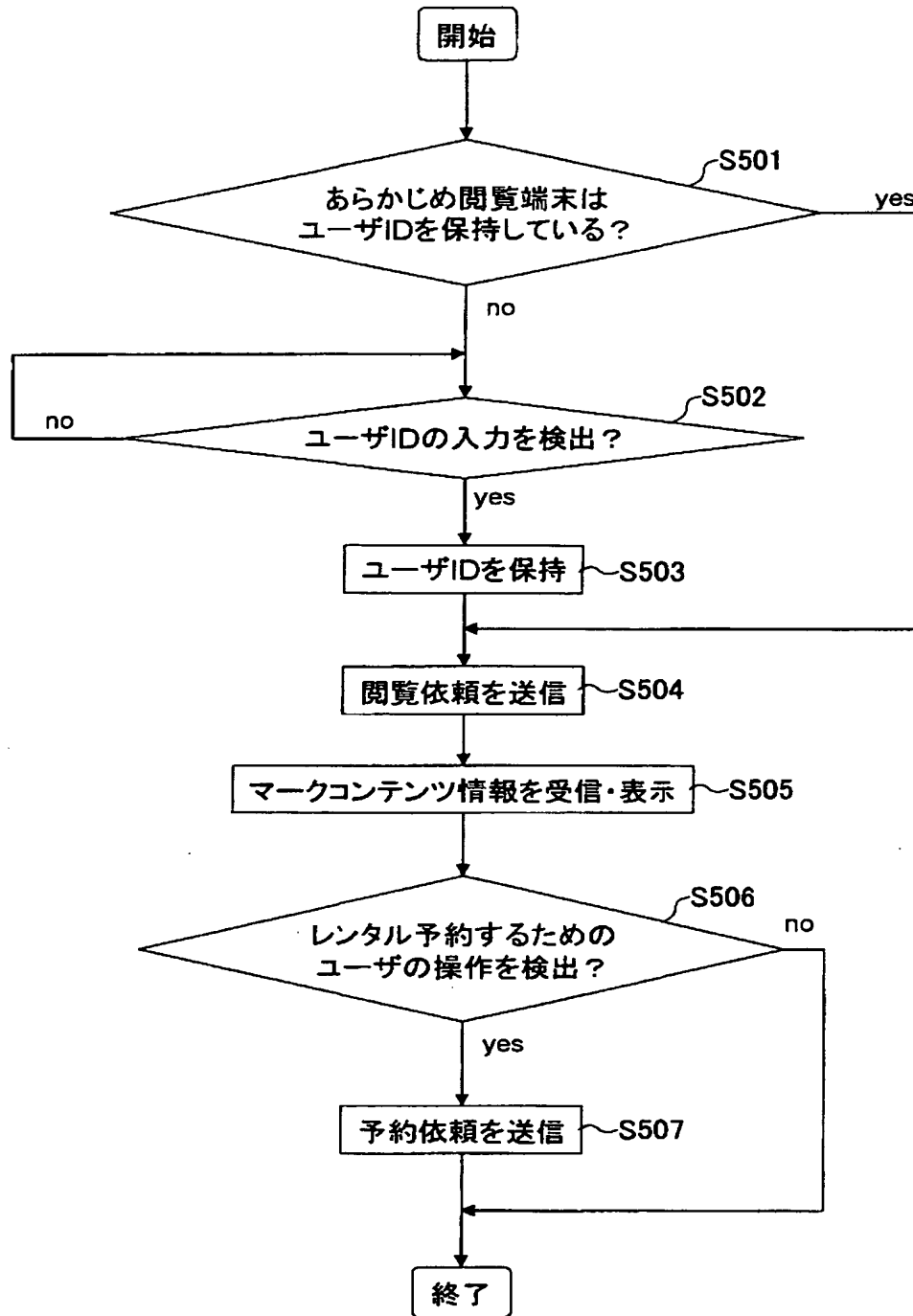
本発明の第1の実施の形態における
コンテンツ情報管理部で保持するデータの例

160

コンテンツID	タイトル	料金	予約可否	レンタル可否
2546	Locky5	350	1	1
0954	Stand by you	250	0	1

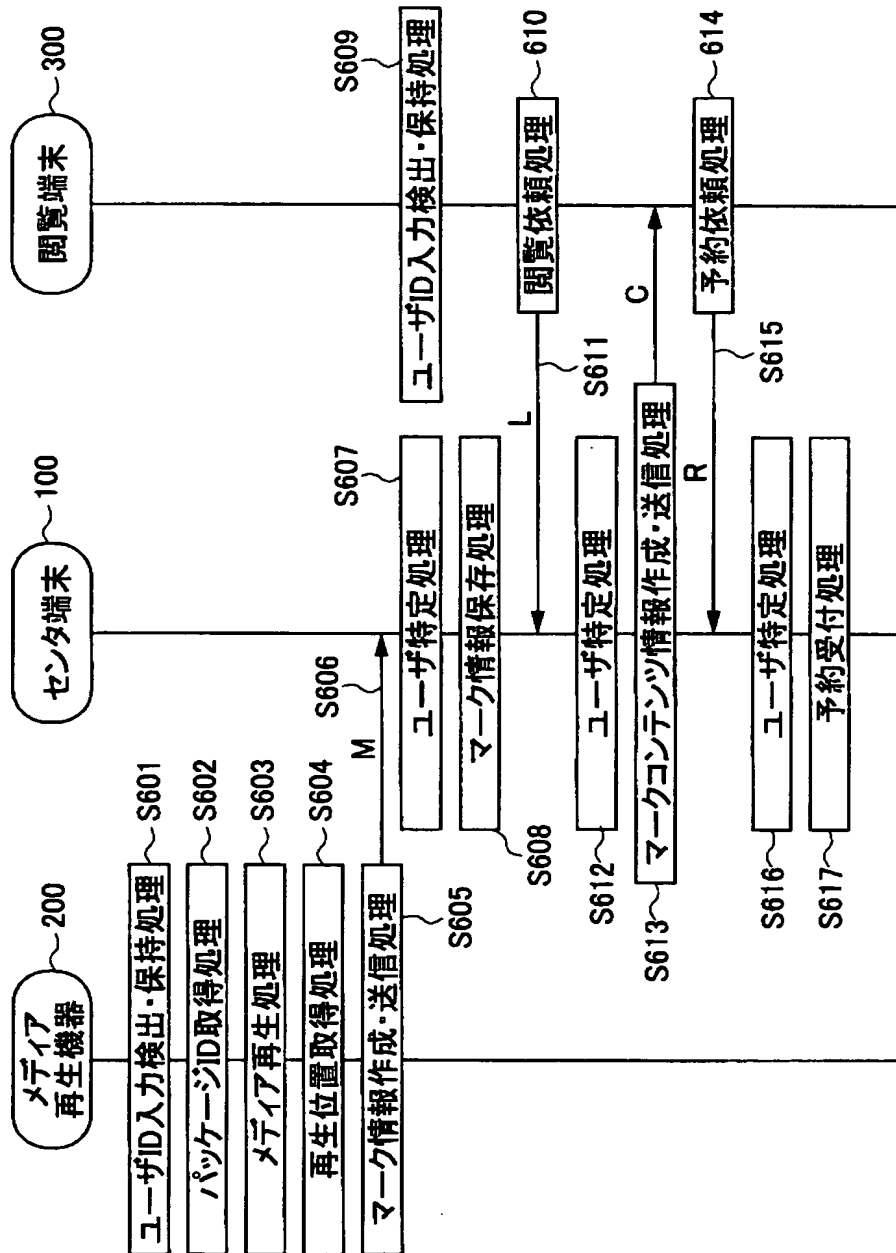
【図 11】

本発明の第1の実施の形態における閲覧端末の処理のフローチャート



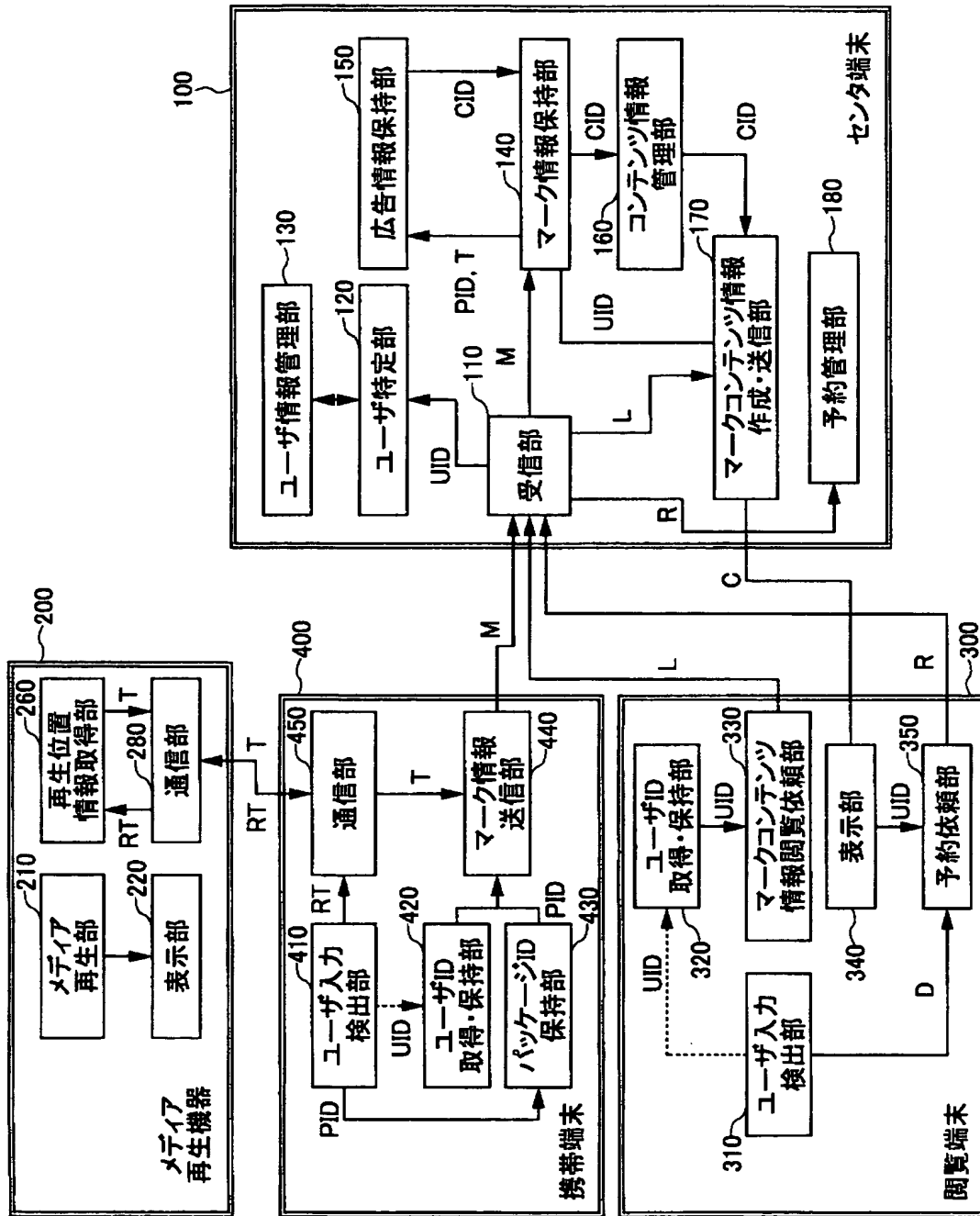
【図12】

本発明の第1の実施の形態におけるメディア再生機器とセンタ端末間との間のシーケンスチャート



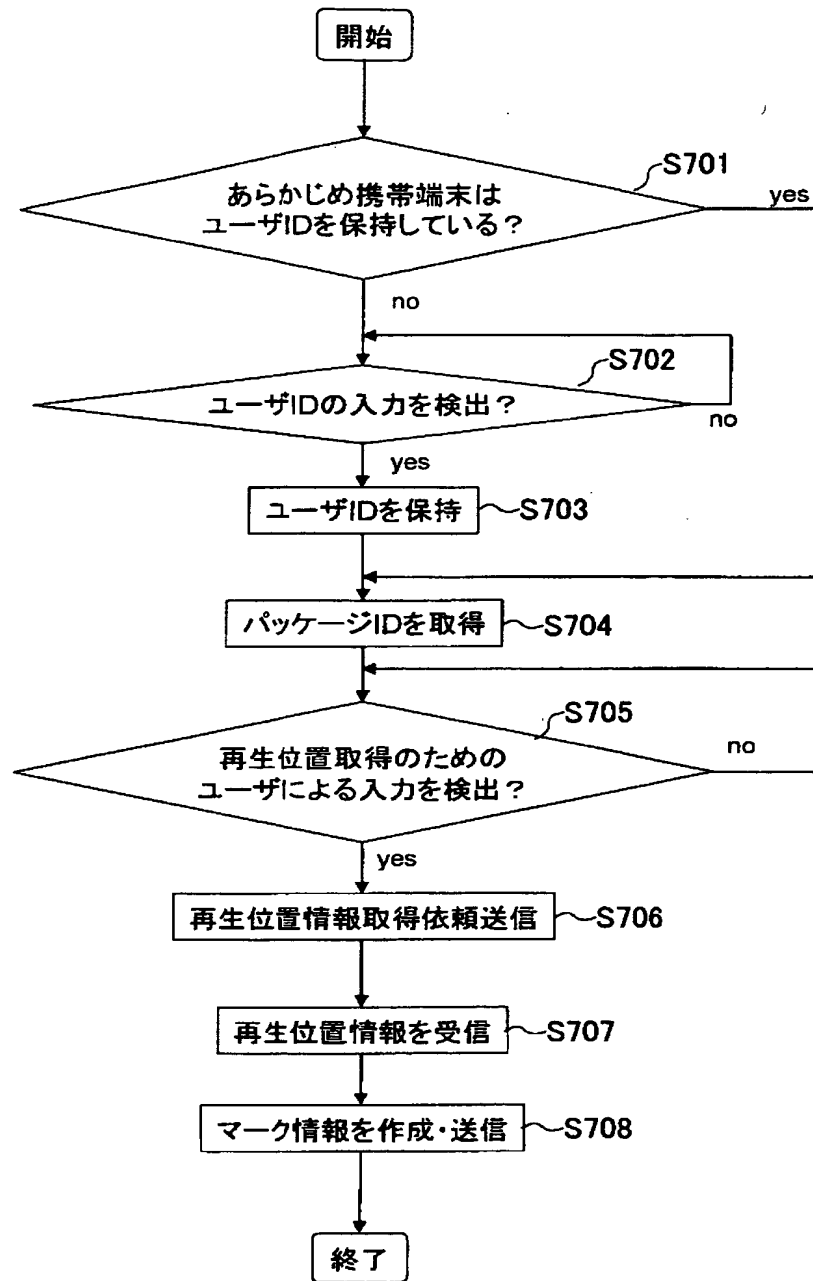
【図 13】

本発明の第2の実施の形態におけるシステム構成図



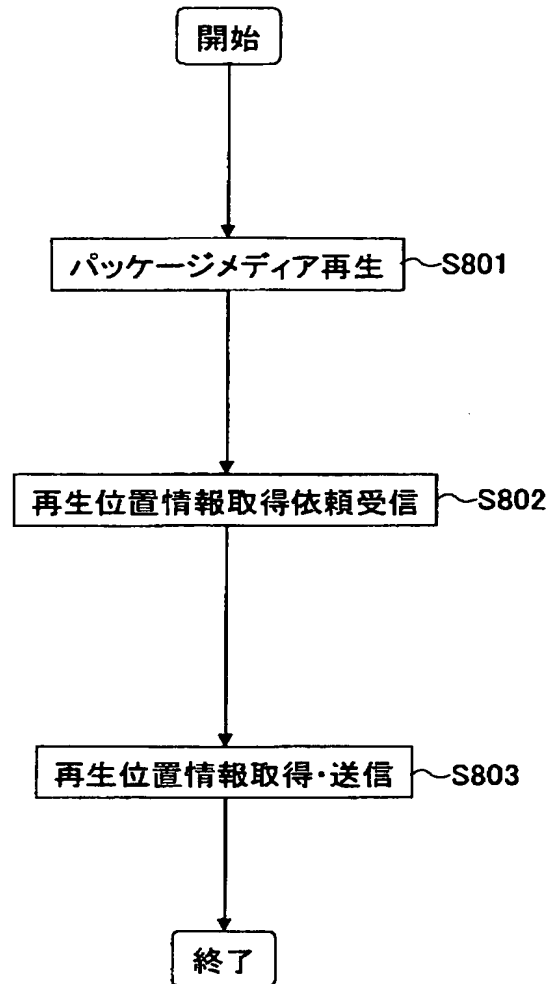
【図 14】

本発明の第2の実施の形態における携帯端末の処理のフローチャート



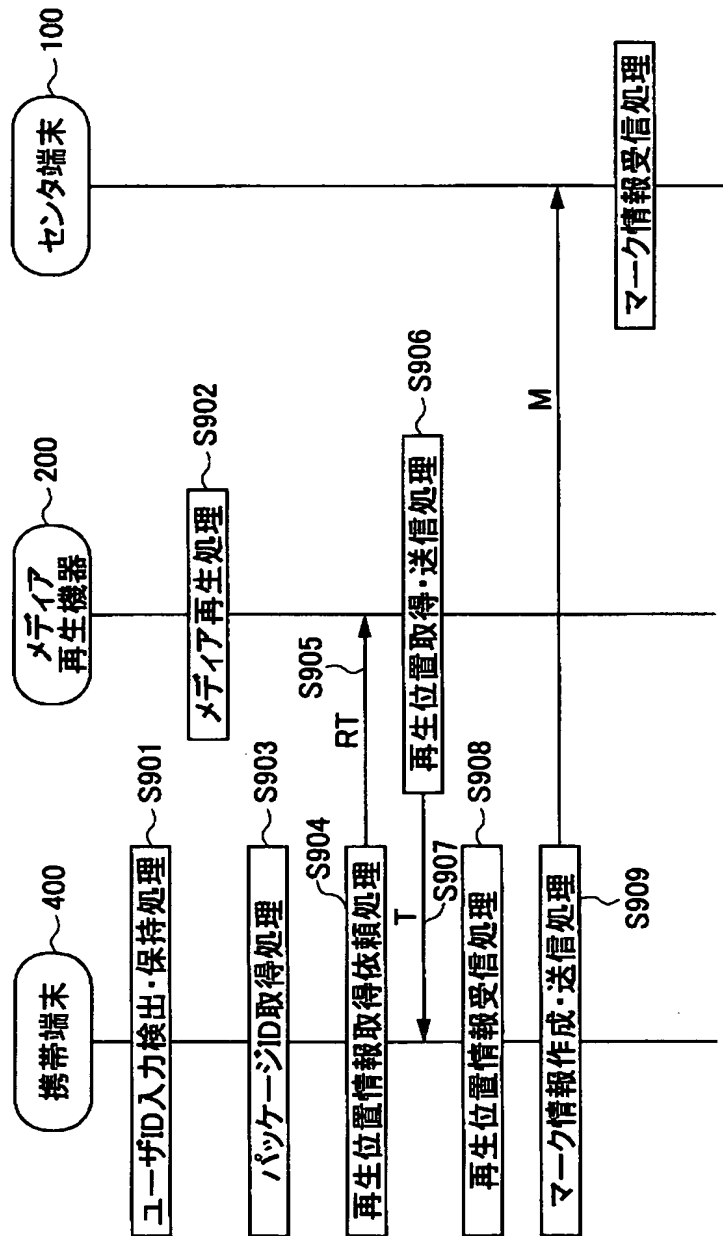
【図 15】

本発明の第2の実施の形態における
メディア再生機器の処理のフローチャート



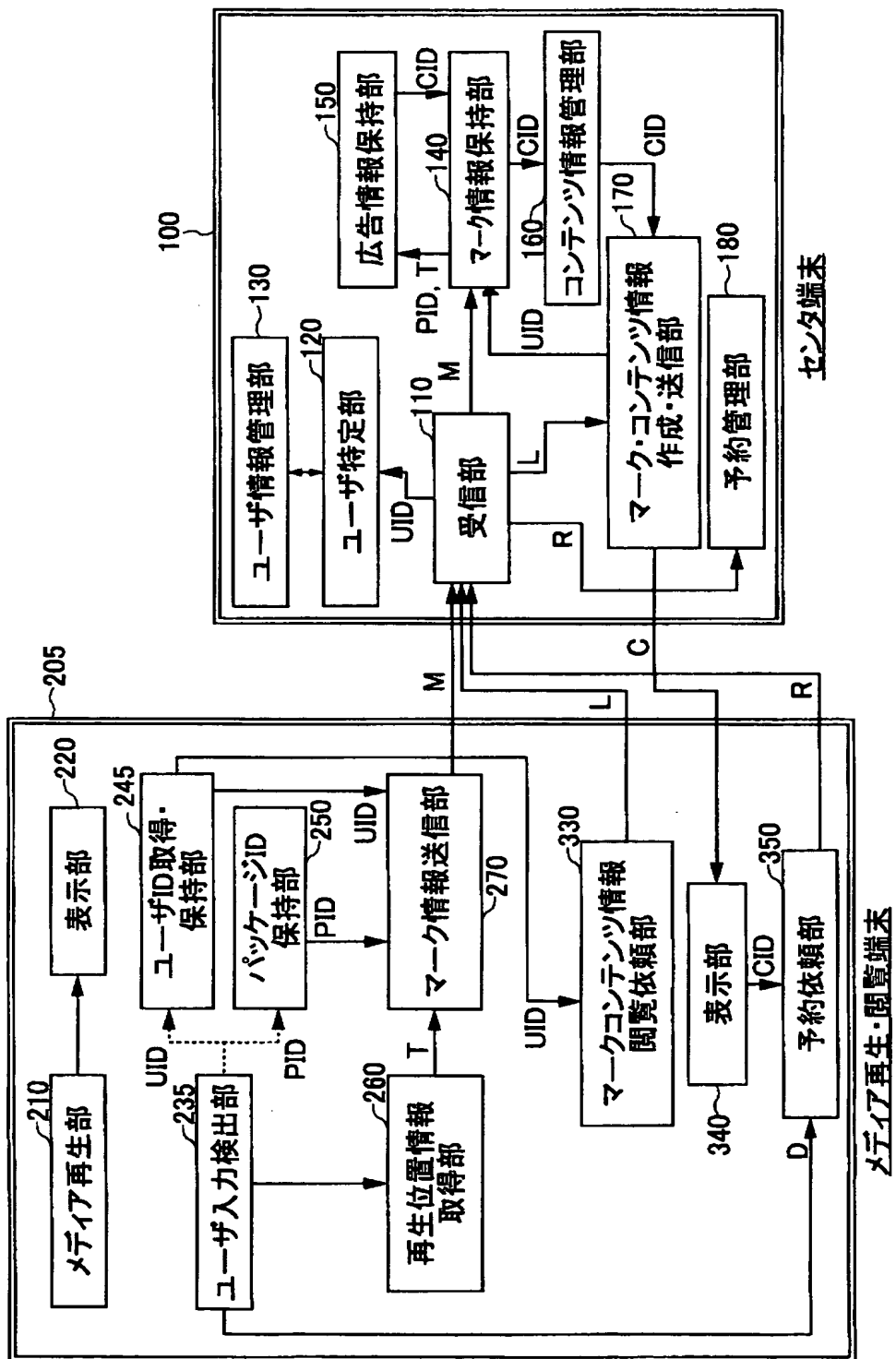
【図 16】

本発明の第2の実施の形態における携帯端末と
メディア再生機器との間のシーケンスチャート



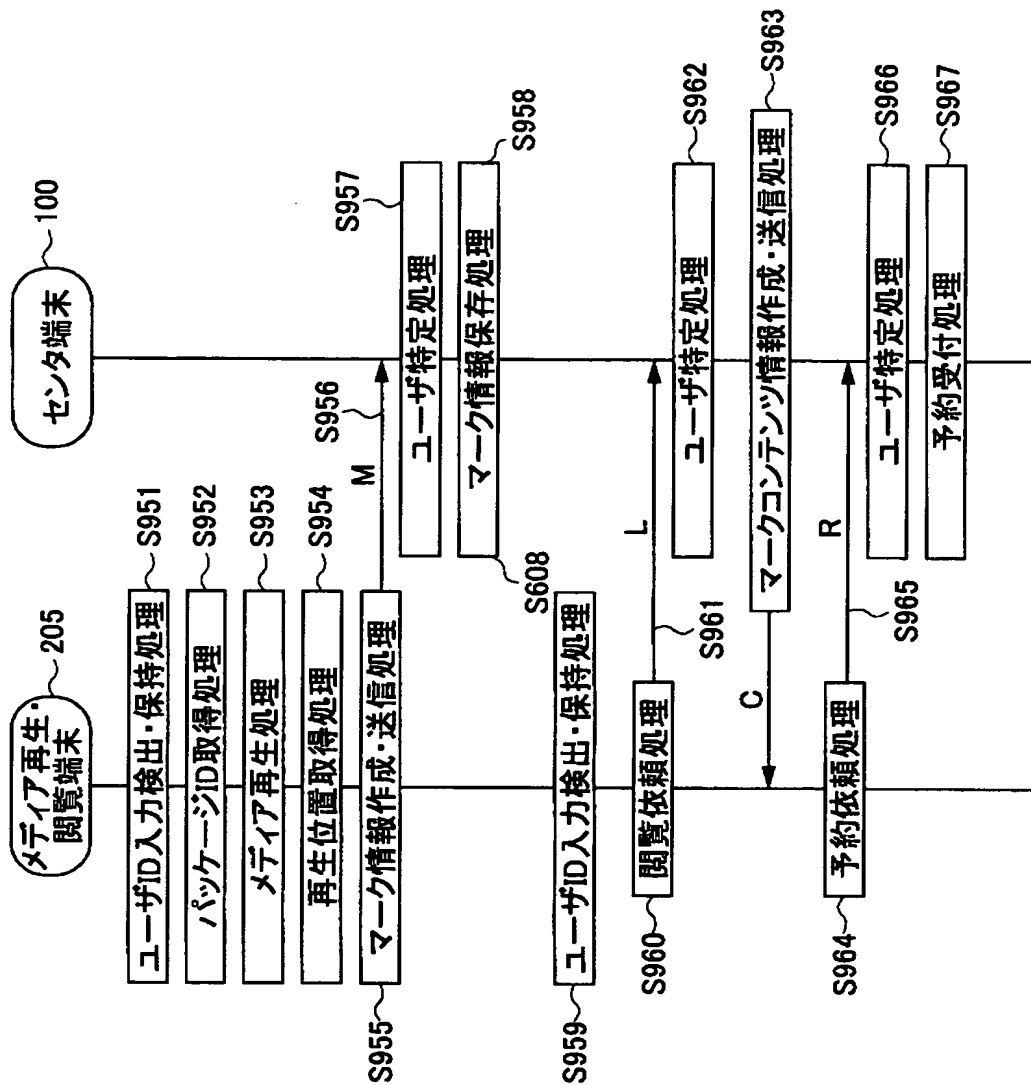
【図 17】

本発明の第3の実施の形態におけるシステム構成図



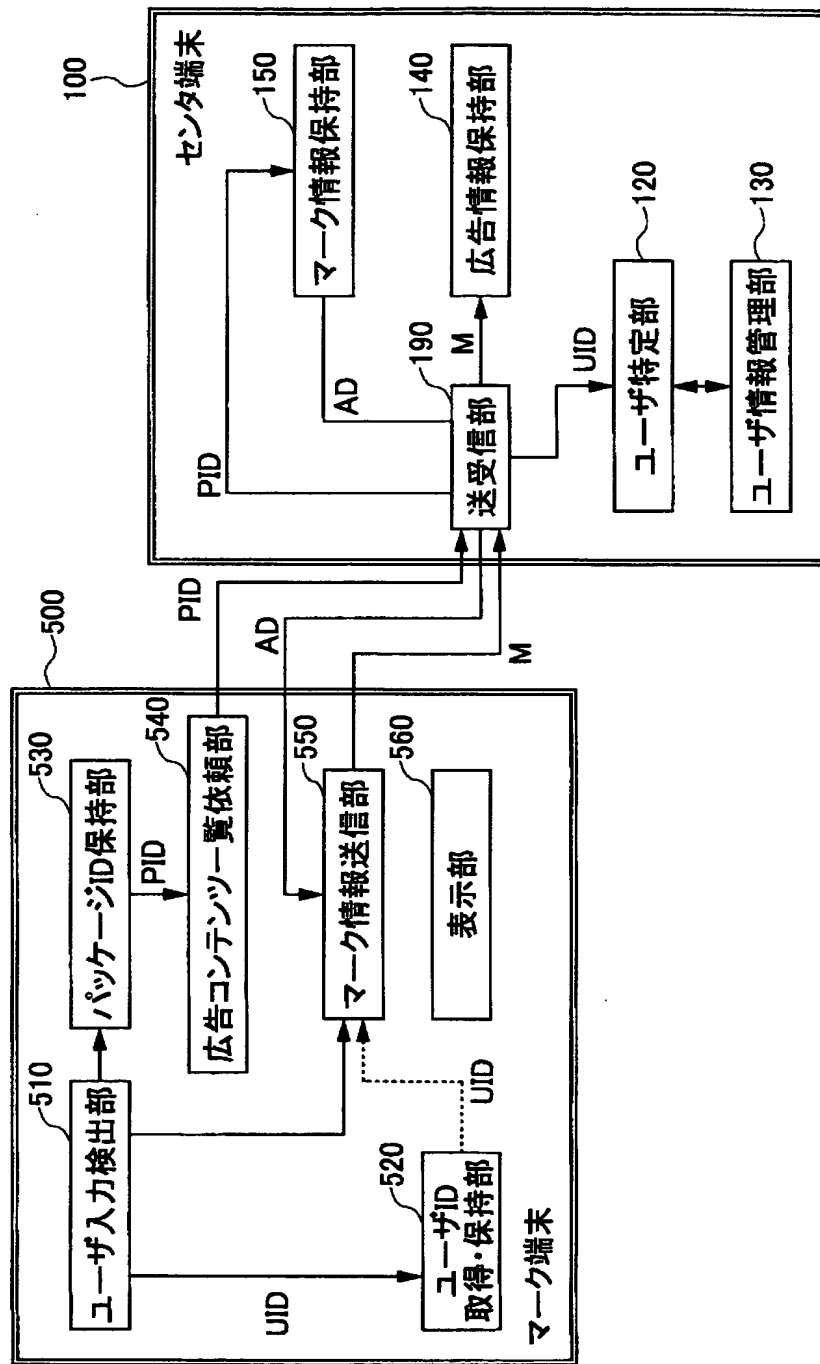
【図 18】

本発明の第3の実施の形態におけるメディア再生・閲覧端末とセンタ端末との間のシーケンスチャート

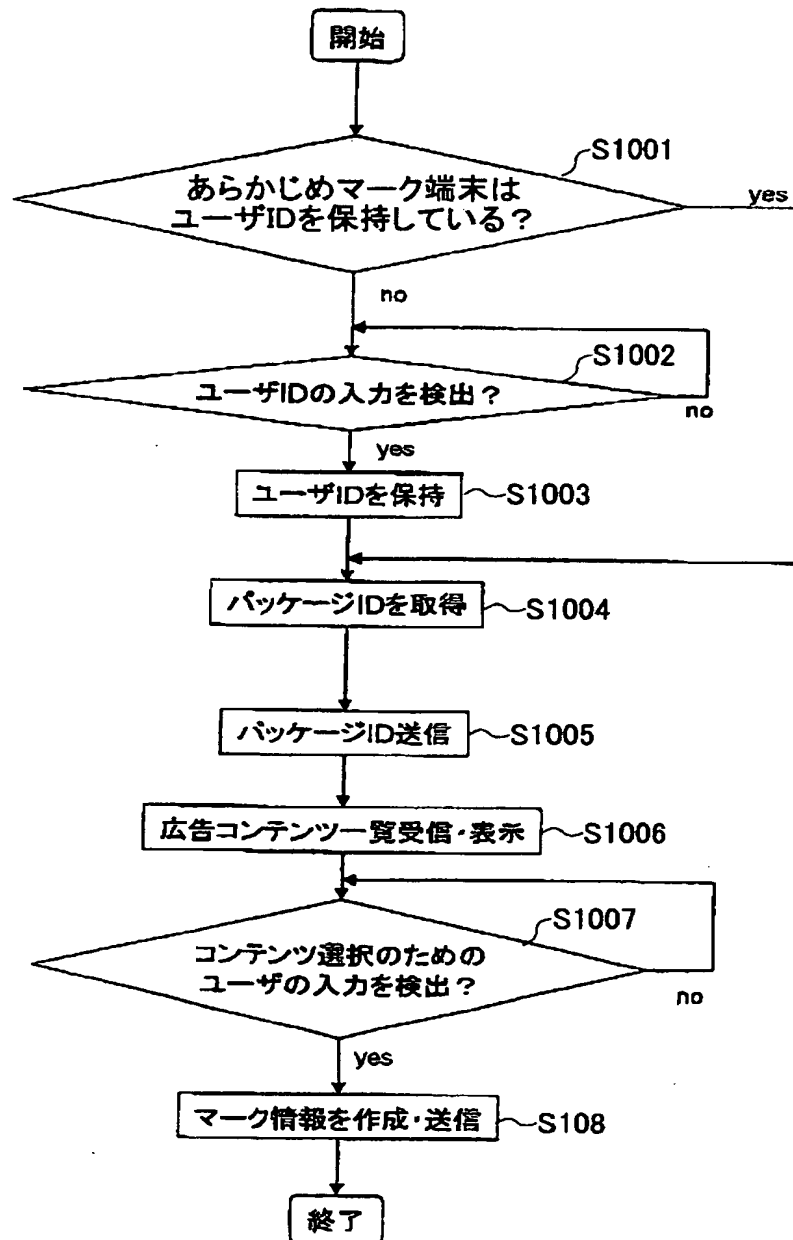


【図 19】

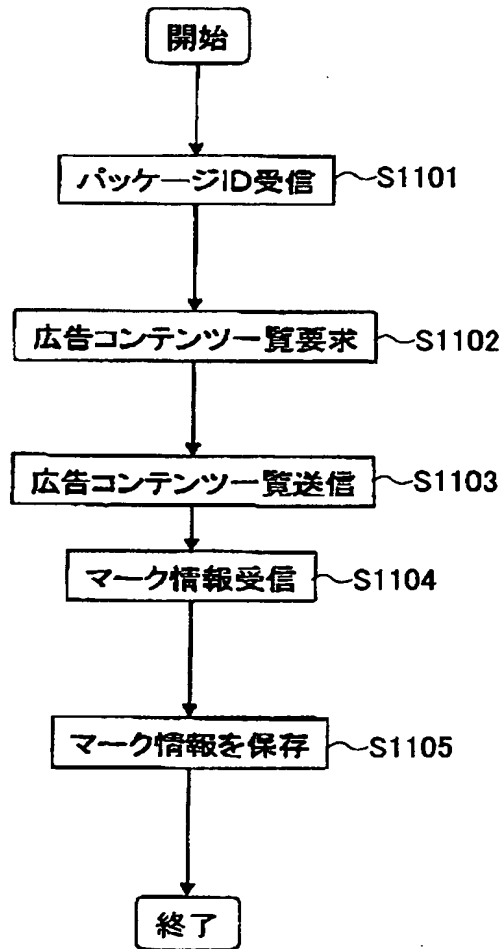
本発明の第4の実施の形態におけるシステム構成図



【図 20】

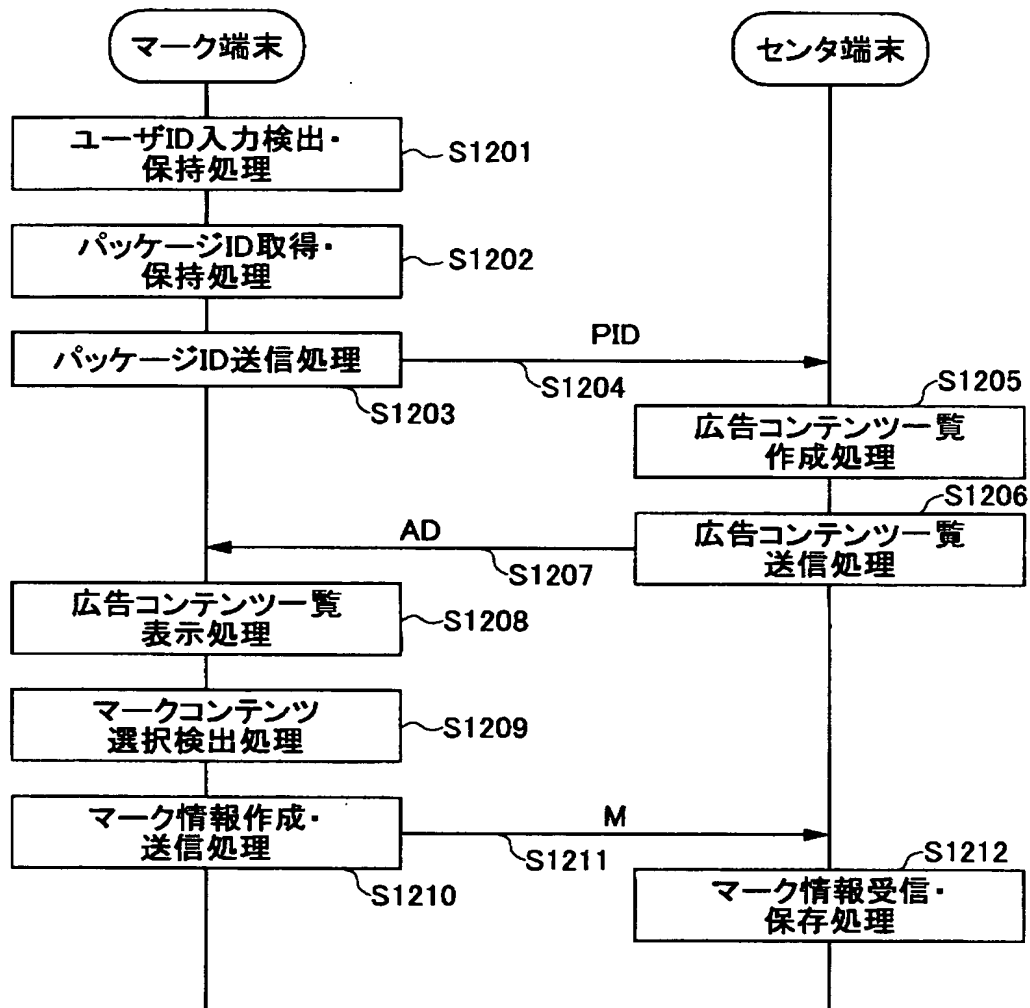
本発明の第4の実施の形態における
マーク端末の処理のフローチャート

【図 21】

本発明の第4の実施の形態における
センタ端末の処理のフローチャート

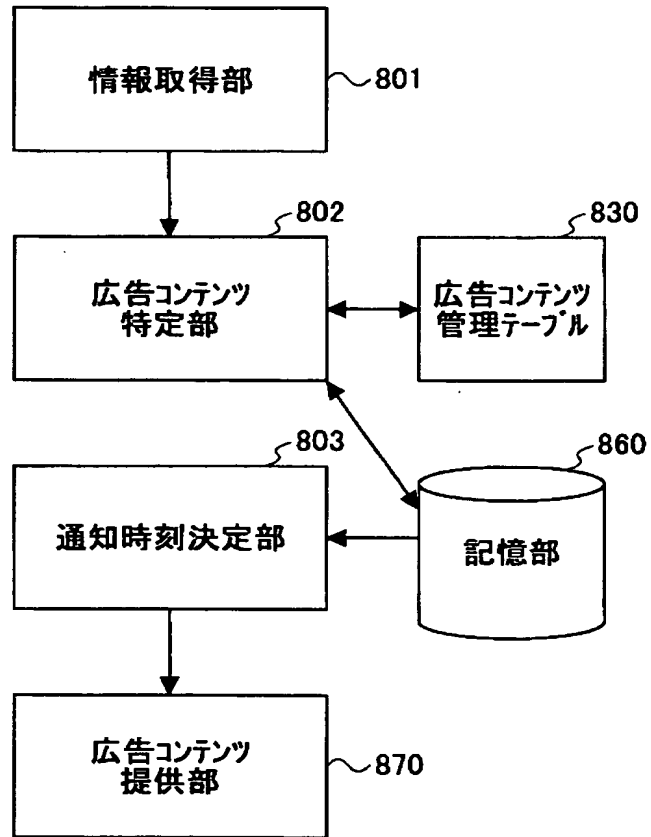
【図 22】

本発明の第4の実施の形態における
マーク端末とセンタ端末との間のシーケンスチャート



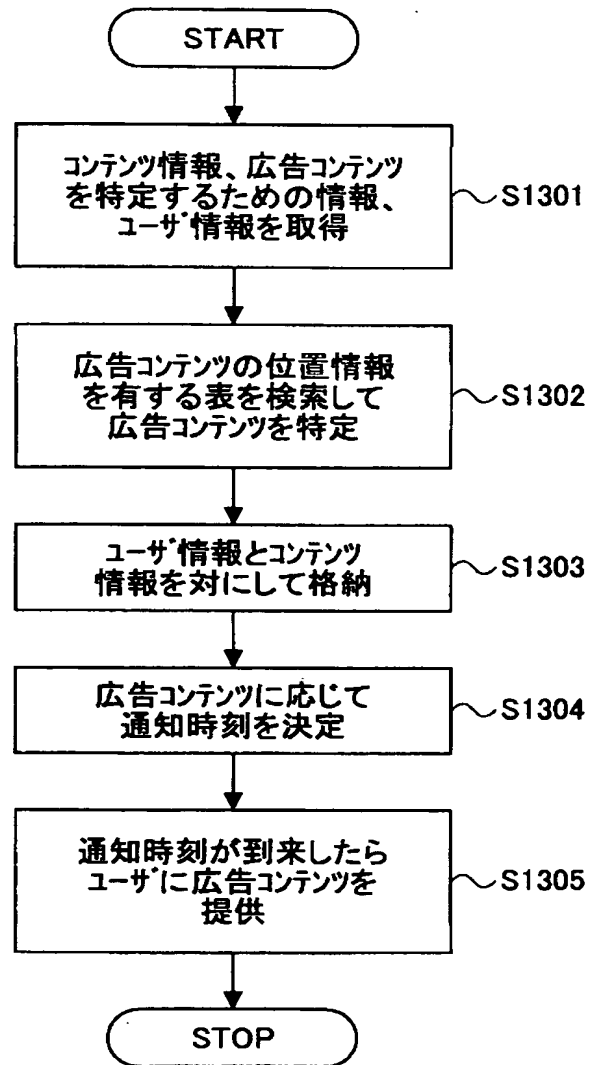
【図 23】

本発明の第5の実施の形態におけるシステム構成の概略を示す図



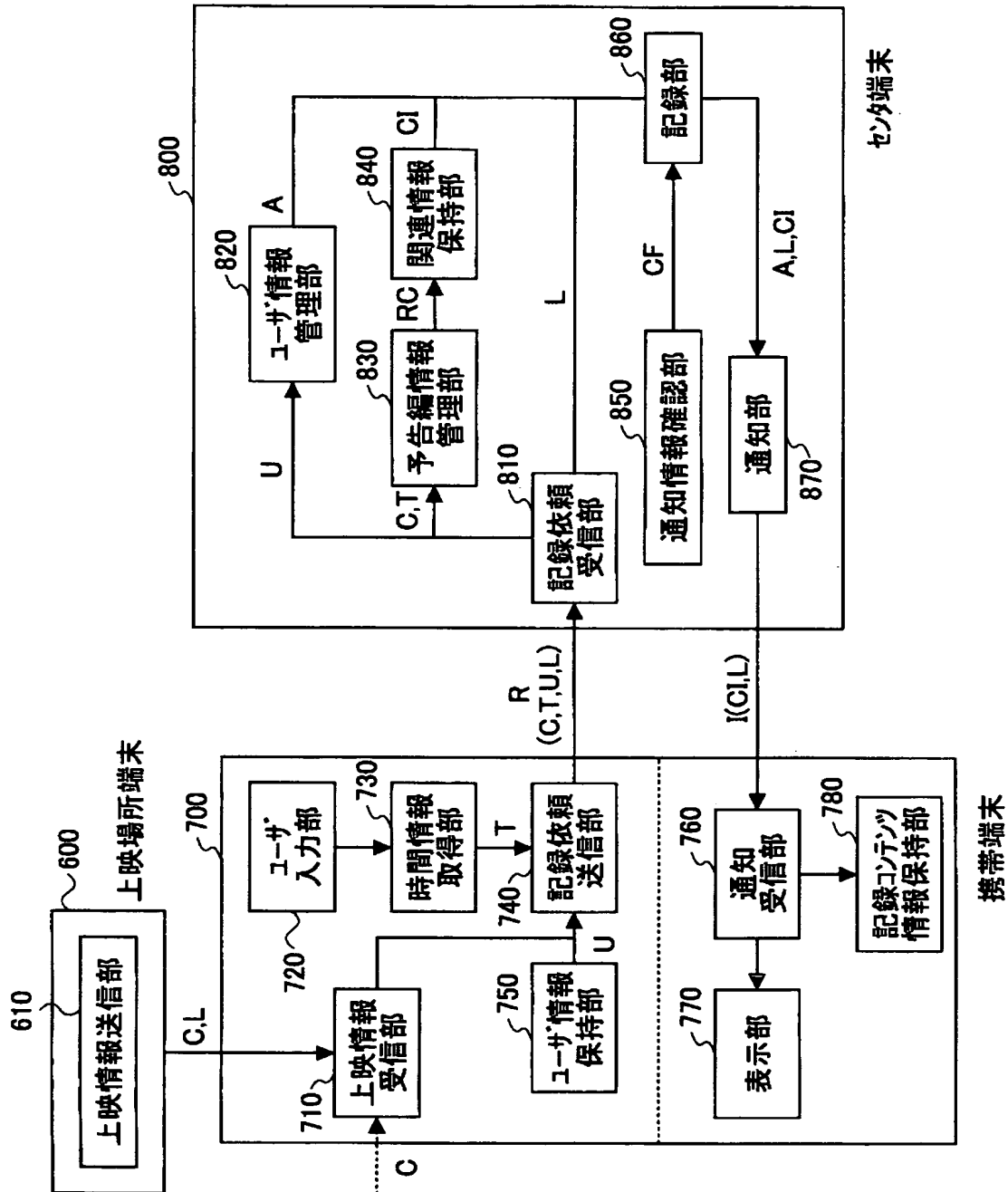
【図 24】

本発明の第5の実施の形態におけるシステム動作の概略を示す図



【図 25】

本発明の第5の実施の形態におけるシステム構成図



【図 26】

本発明の第5の実施の形態におけるセンタ端末
の予告編情報管理で保持されるデータの例

上映場所毎に保持

上映 コンテンツ 情報(C)	開始 時刻	終了 時刻	予告編1			予告編2			予告編3		
			開始 時刻	終了 時刻	コンテンツ 情報	開始 時刻	終了 時刻	コンテンツ 情報	開始 時刻	終了 時刻	コンテンツ 情報
002	12:00	14:15	12:05	12:08	005	12:08	12:10	001	12:10	12:13	008
015	14:00	16:00	14:08	14:10	008	14:10	14:13	016	14:13	14:15	009
002	14:30	16:45	14:35	14:38	005	14:38	14:40	001	14:40	14:43	008
004	19:00	20:30	19:10	19:12	002	19:12	19:15	015			
002	17:00	19:15	17:05	17:08	005	17:08	17:10	001	17:10	17:13	008

【図 27】

本発明の第5の実施の形態における
センタ端末の関連情報テーブルの例

841

記録コンテンツ 情報(RC)	関連情報(CI)
005	
152	
035	

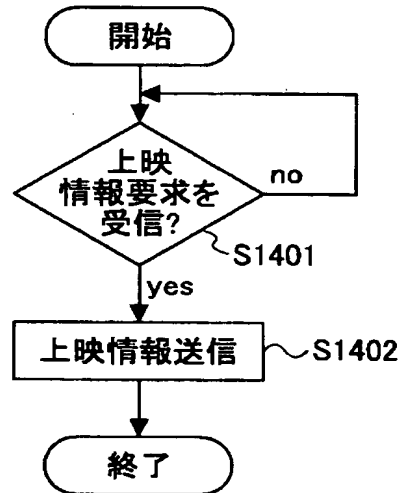
【図 28】

本発明の第5の実施の形態における
センタ端末の記録部に記録されるデータの例

通知先 アドレス(A)	上映場所 情報(L)	通知日時	関連情報(CI)
〇〇〇〇@***.nejp	AAA	2002/12/10 10:00:00	
△△△△@***.adjp	CCC	2003/01/15 08:00:00	
□□□□@***.cojp	DDD	2002/11/25 21:30:00	
××××@***.com	KKK	2003/04/05 12:00:00	

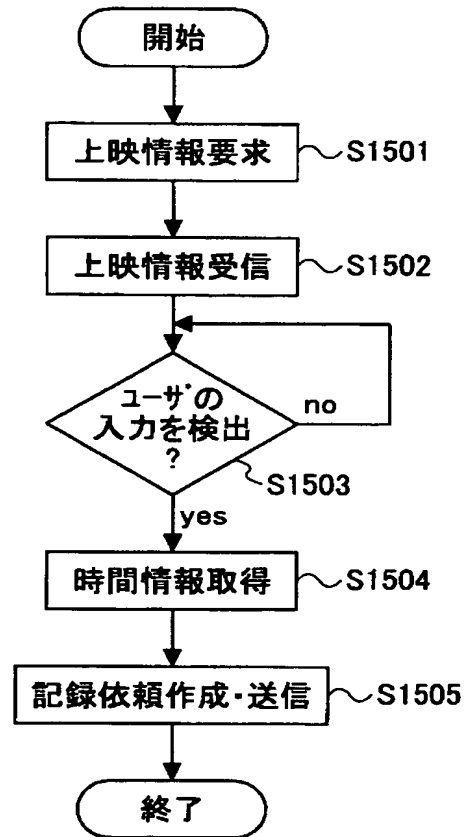
【図 29】

本発明の第5の実施の形態における
上映場所端末の処理のフローチャート



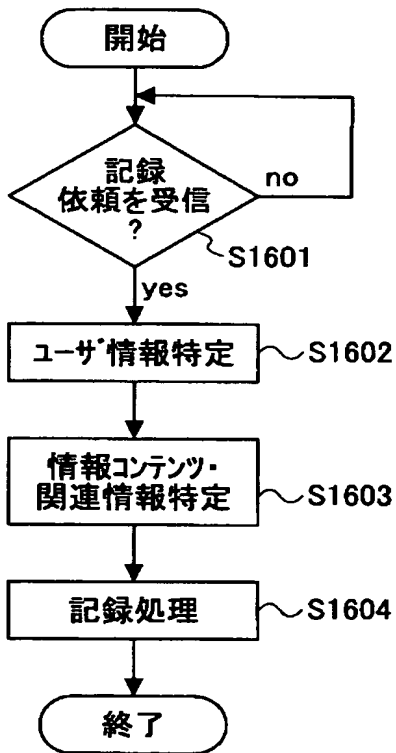
【図 30】

本発明の第5の実施の形態における
携帯端末の処理のフローチャート（その1）



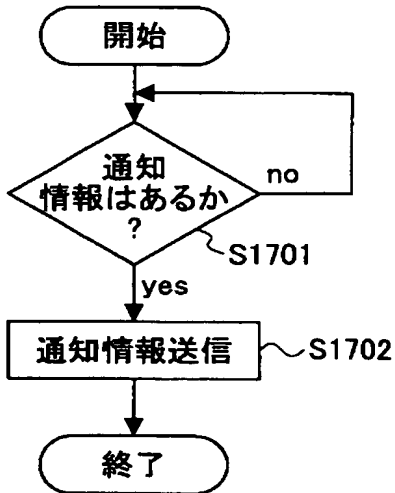
【図 31】

本発明の第5の実施の形態における
センタ端末の処理のフローチャート（その1）



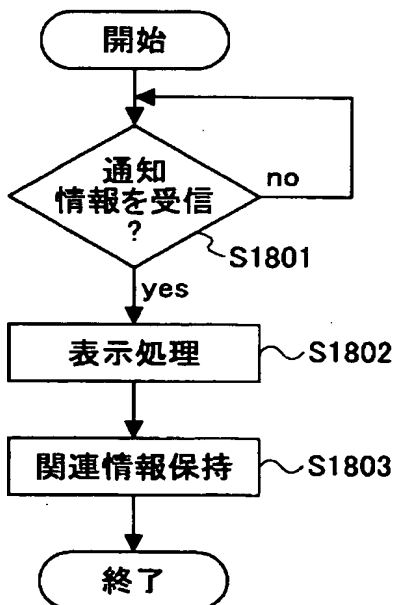
【図 3 2】

本発明の第 5 の実施の形態における
センタ端末の処理のフローチャート（その 2）



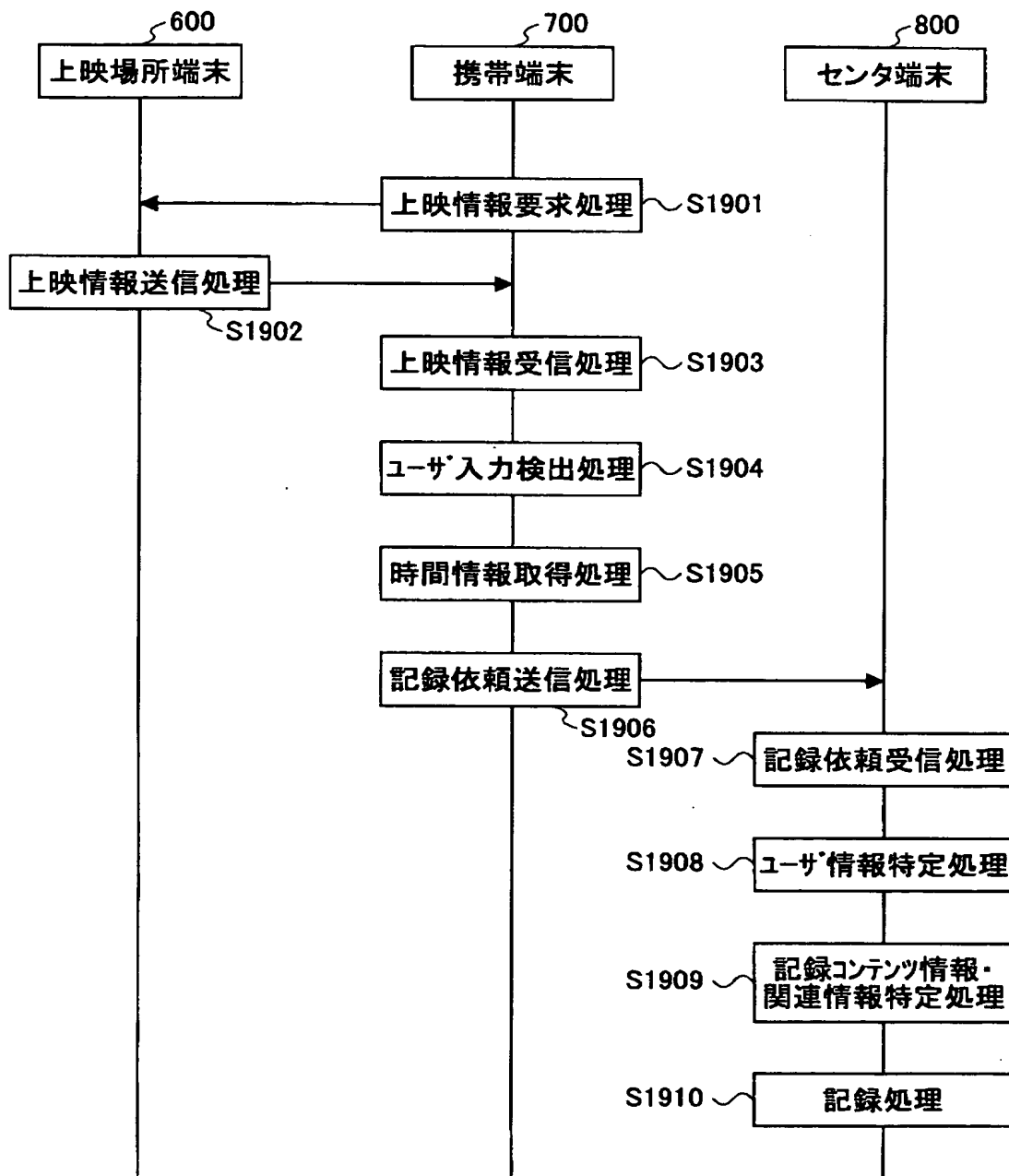
【図 3 3】

本発明の第 5 の実施の形態における
携帯端末の処理のフローチャート（その 2）



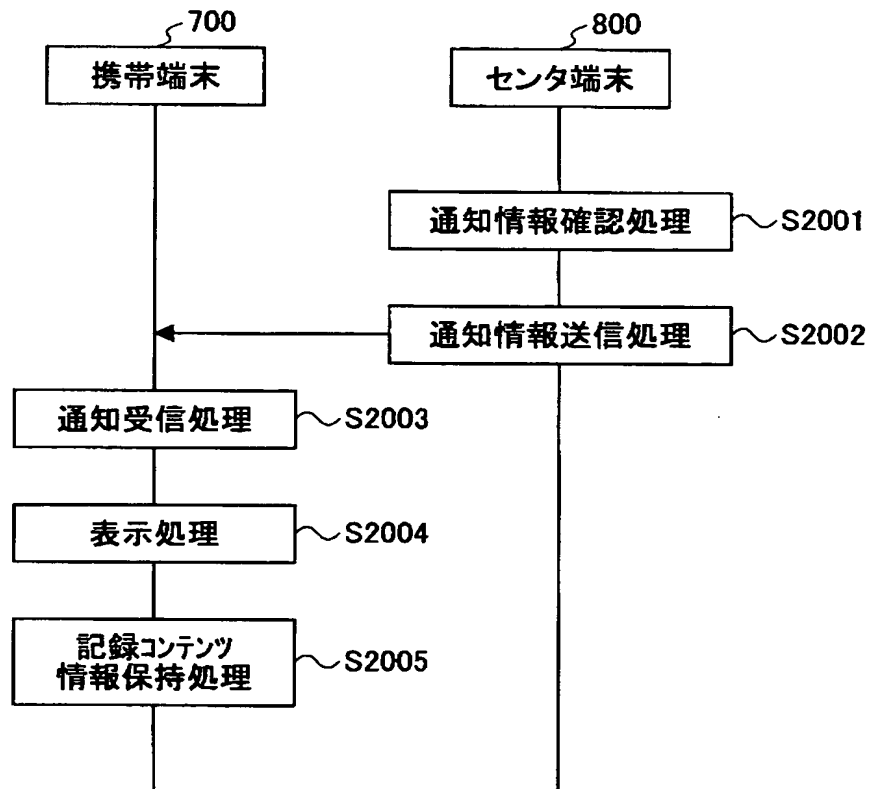
【図 34】

本発明の第5の実施の形態における上映場所端末
と携帯端末とセンタ端末間のシーケンスチャート



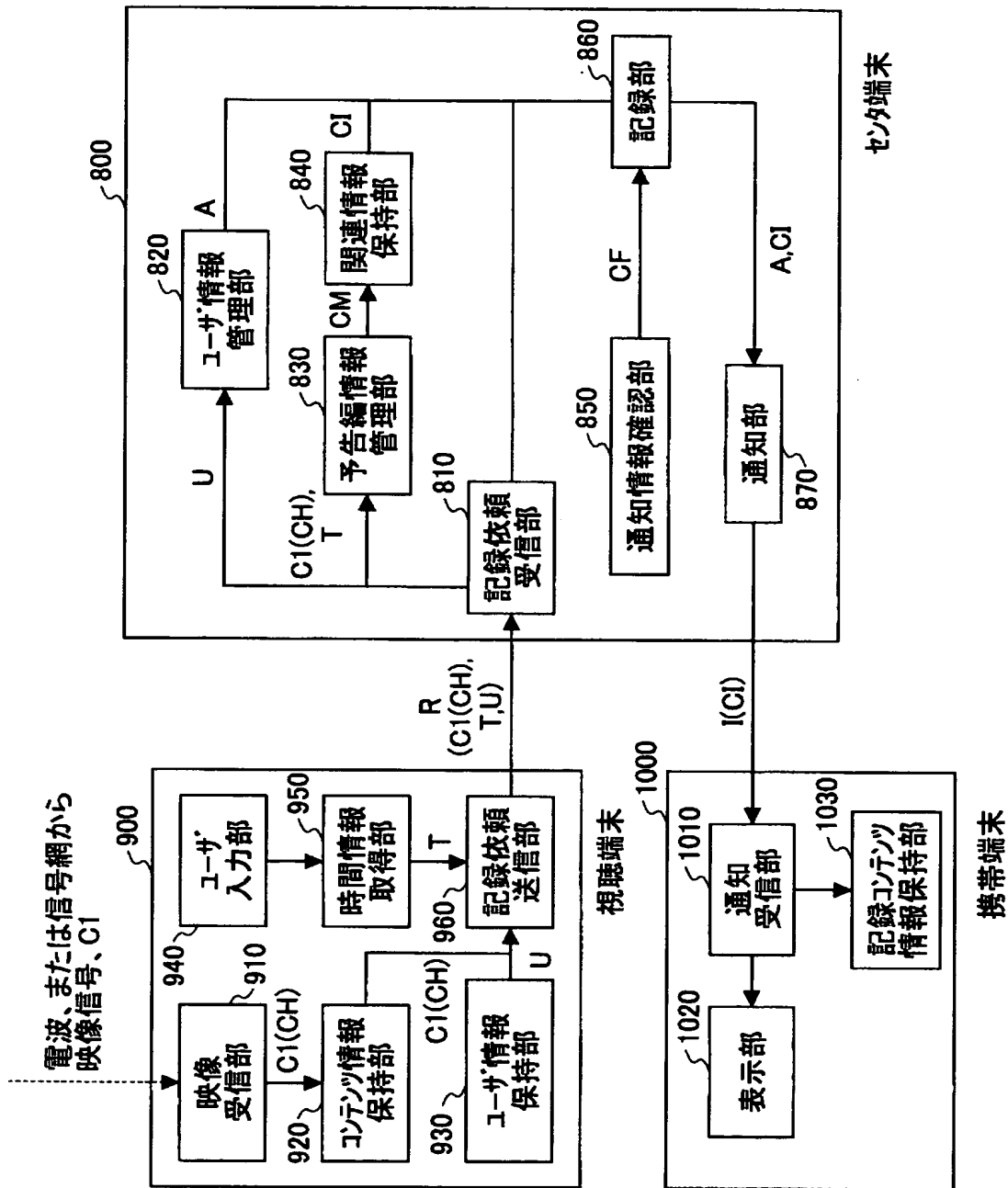
【図 35】

本発明の第5の実施の形態における携帯端末とセンタ端末間の
記録コンテンツに関する情報の通知が行われるまでの
シーケンスチャート



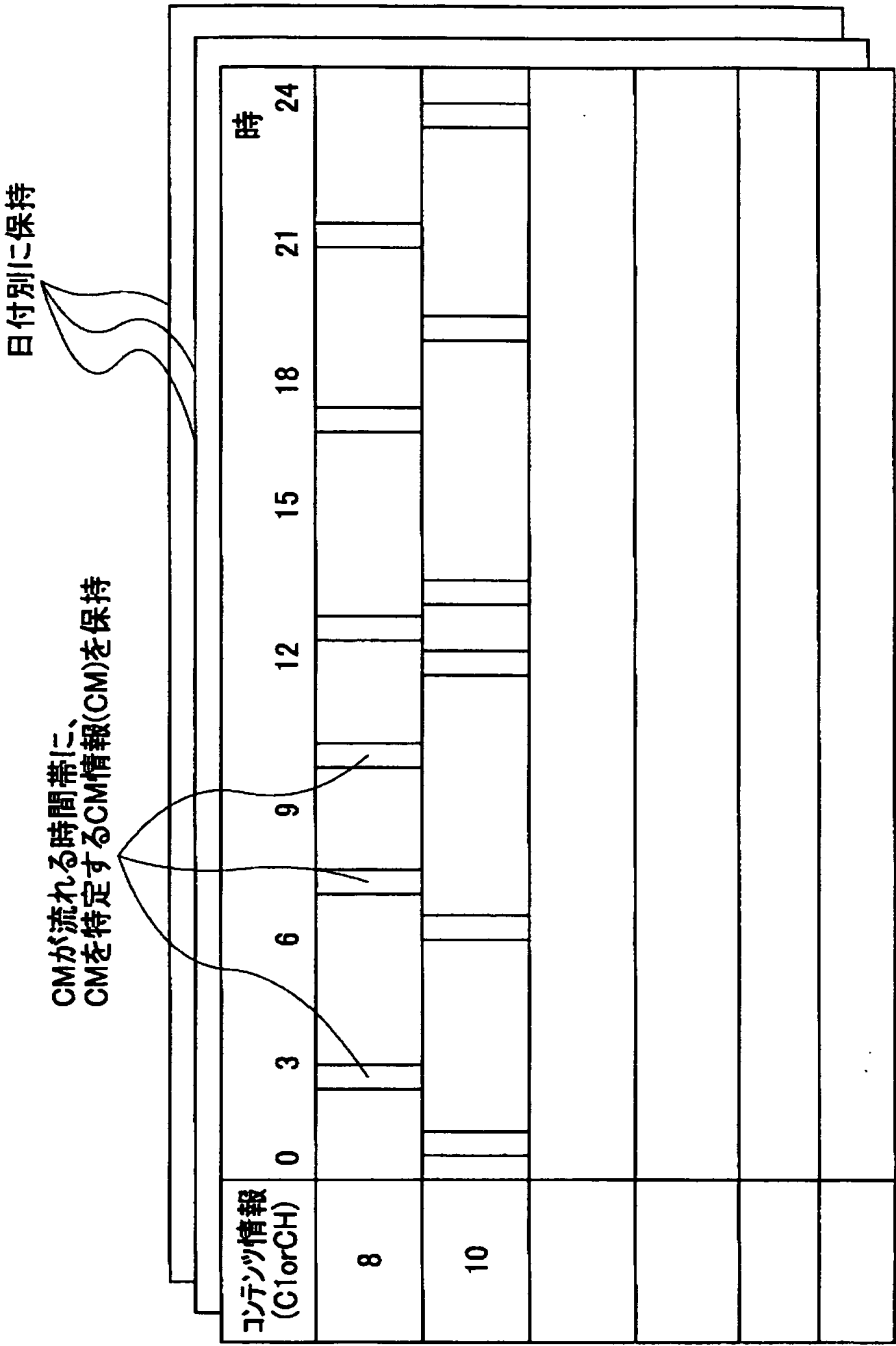
【図 36】

本発明の第6の実施の形態におけるシステム構成図



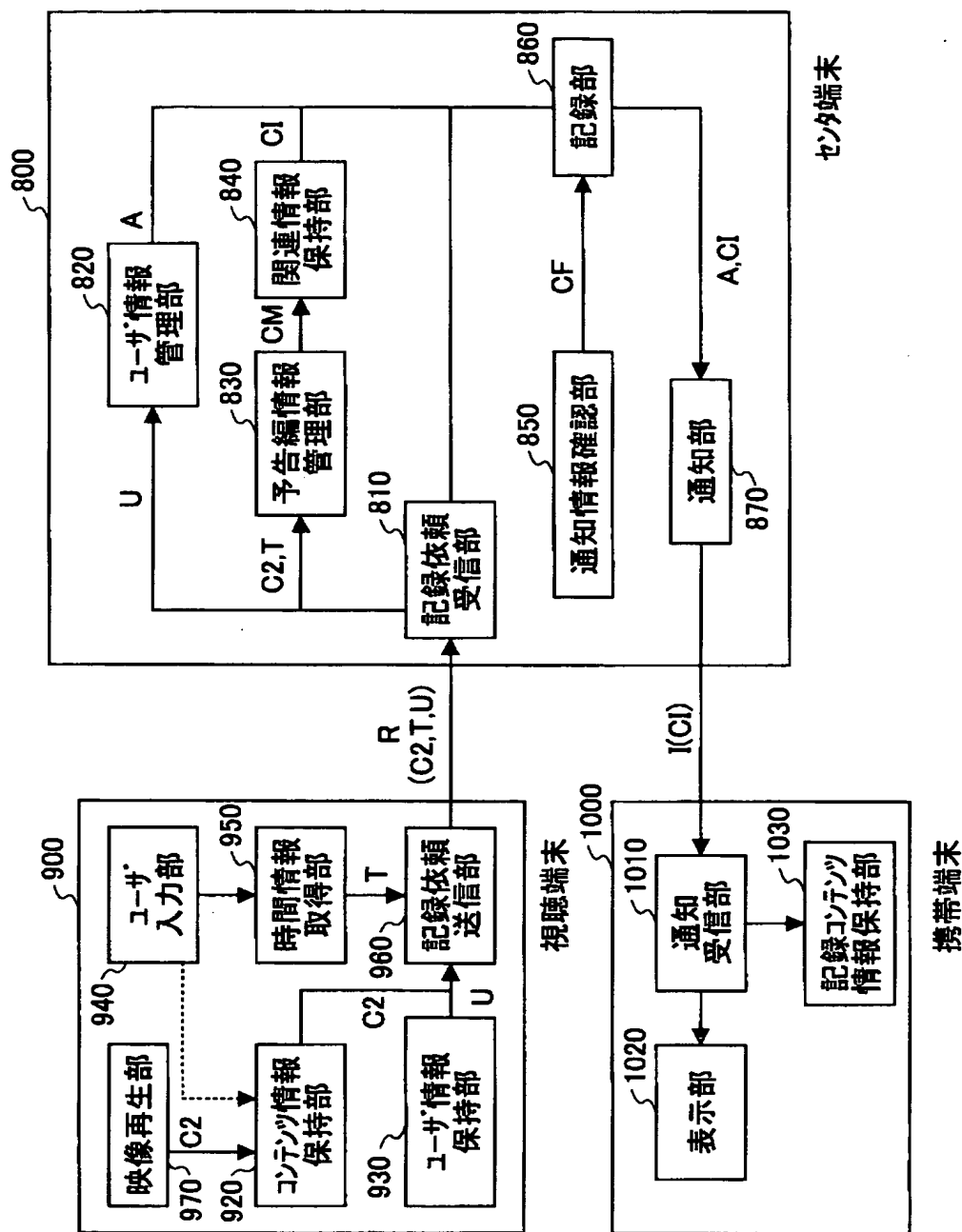
【図 37】

本発明の第6の実施の形態におけるセンタ端末の
予告情報管理部で保存されるデータの例



【図 38】

本発明の第 7 の実施の形態におけるシステム構成図



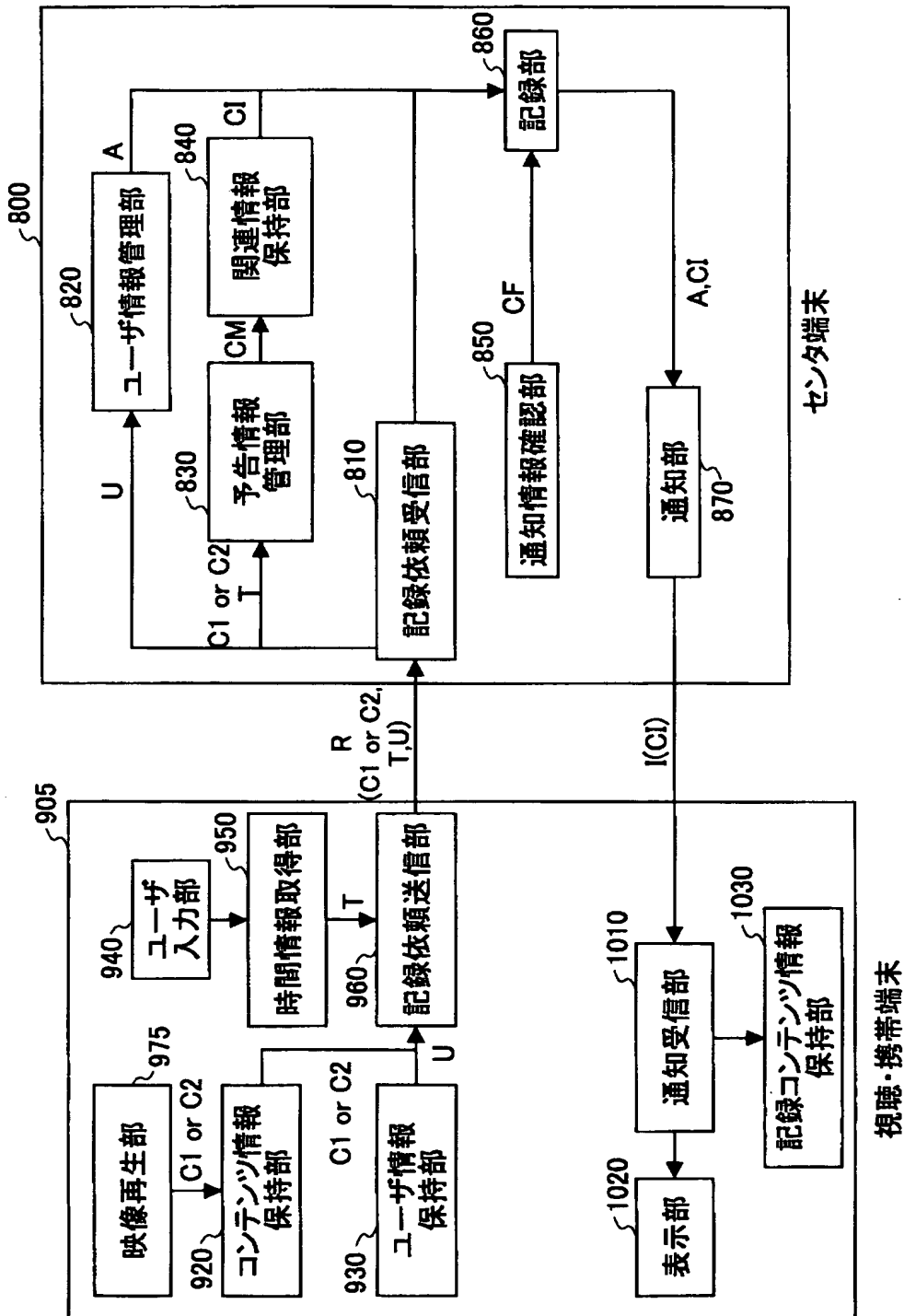
【図 39】

本発明の第7の実施の形態における
予告編情報管理部が保持するデータの例

パッケージ 情報(C)	予告編1				予告編2				予告編3			
	開始時刻	終了時刻	フレーム 番号	コンテンツ 情報	開始時刻	終了時刻	フレーム 番号	コンテンツ 情報	開始時刻	終了時刻	フレーム 番号	コンテンツ 情報
002	00:05	00:08	1586	005	12:08	12:10	3654	001	12:10	12:13	5684	008
015	00:08	00:10	2541	008	14:10	14:13	4523	016				

【図 40】

本発明の第 8 の実施の形態におけるシステム構成図



【書類名】 要約書**【要約】**

【課題】 映像コンテンツの中でユーザが興味をもった広告コンテンツに関する情報を、所望の端末に任意のタイミングで表示することを可能とする情報提供の技術を提供する。

【解決手段】 映像コンテンツに付随する広告コンテンツに関連する関連情報を提供するための情報提供システムにおいて使用されるセンタ端末において、ユーザを特定するためのユーザ情報と、映像コンテンツを特定するためのコンテンツ情報と、広告コンテンツを特定するための特定情報を受信する受信手段と、映像コンテンツ毎に、広告コンテンツの識別情報と当該広告コンテンツに対応する特定情報とを関連付けて保持する広告情報保持手段と、前記コンテンツ情報、及び前記特定情報を用いて前記広告情報保持手段から広告コンテンツの識別情報を取得し、当該広告コンテンツの識別情報もしくは当該広告コンテンツに関連する関連情報と、ユーザ情報とを対応付けて保持する保持手段と、ユーザ情報に基づき前記広告コンテンツに関連する関連情報を提供する送信手段とを備える。

【選択図】 図 1

特願 2003-293687

出願人履歴情報

識別番号

[000004226]

1. 変更年月日
[変更理由]

1999年 7月15日

住所変更

住 所
氏 名

東京都千代田区大手町二丁目3番1号
日本電信電話株式会社